
ハナトピア岩沼利活用基本構想

令和5年3月

岩沼市

目 次

第1章	はじめに	1
1-1	基本構想策定の背景と目的	1
1-2	基本構想の位置付けと構成	1
1-3	基本構想策定の経緯	2
第2章	現状と課題の整理	3
2-1	地域概況	3
2-2	上位関連計画の整理	6
2-3	ハナトピア岩沼の施設概要	9
2-4	農村環境改善センターの施設概要	18
2-5	現状と課題	23
2-6	まとめ	25
第3章	基本コンセプト	26
3-1	コンセプト・整備方針	26
3-2	ターゲットの設定	27
第4章	求められる機能と役割の整理	28
4-1	ゾーンの区分	28
4-2	各ゾーンの機能検討	29
第5章	基本構想図の作成	32
第6章	実現に向けた取組	33
第7章	事業手法	34
7-1	官民連携手法について	34
資料編		
資料1	市民満足度調査の分析	36
資料2	利用団体アンケート調査	38
資料3	子育て世代アンケート調査	63
資料4	サウンディング調査	81

第1章 はじめに

1-1 基本構想策定の背景と目的

ハナトピア岩沼は、平成10年に「農業振興に資すること」を目的として整備され、令和4年度で築24年となります。当初は、第三セクターが運営主体となり開所したものの経営状況の悪化により、平成11年以降、市の直営施設として運営を行っています。

平成22年には「岩沼版事業仕分け」によって「廃止・休止」の評価を受けましたが、補助金返還や原状回復費用の観点から施設を維持することになりました。これに対して、平成24年に有識者等で構成する「ハナトピア岩沼あり方検討委員会」を設置し、既存建物や産直、庭園、維持管理等について、検討に着手しましたが、東日本大震災からの復興を最優先とし、取り組む機会を見定めていました。令和4年2月に主要な建物が法定耐用年数を迎えることを契機に、令和3年度は、庁内組織である「ハナトピア岩沼利活用検討会」で、岩沼市公共施設等総合管理計画及び岩沼市公共施設長寿命化計画との整合性を図りながら、具体的な運営方針について検討いたしました。

令和4年度は、ハナトピア岩沼の新たな利活用（リニューアル）について検討を行い、コンセプトや施設整備の内容等を取りまとめました。

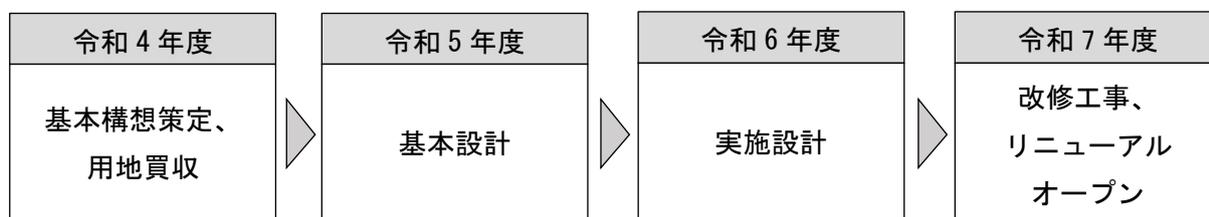
また、農村環境改善センターについても、令和4年3月に改訂された「岩沼市公共施設等総合管理計画」をもとに、統廃合に向けた検討を進めることになりました。

1-2 基本構想の位置付けと構成

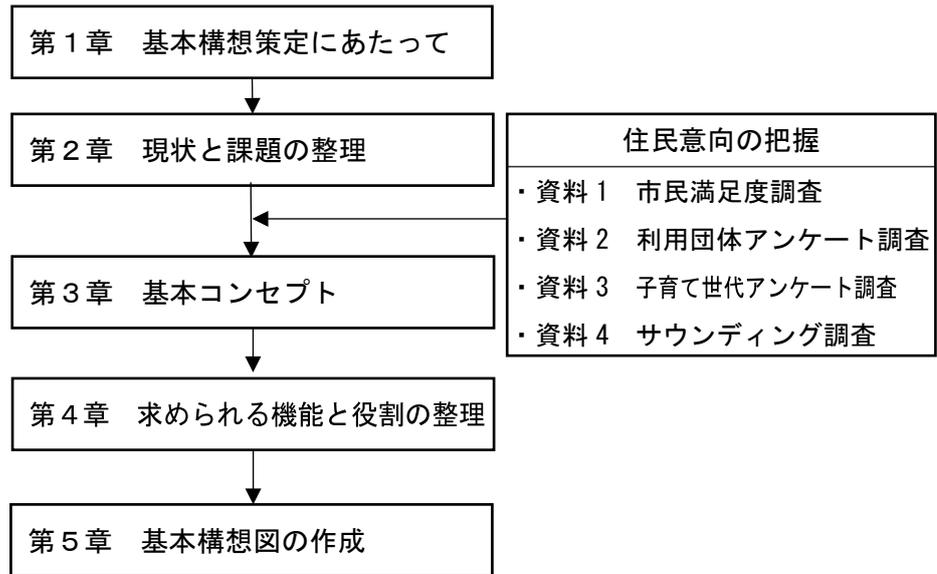
本基本構想は、平成25年1月に報告を受けた「ハナトピア岩沼あり方検討会報告書」に基づき、新たな検討を加え、求められる機能と施設のイメージについて、具体的に市民と共有を図るものとします。

また、現状の課題の整理（第2章）、住民意向調査、サウンディング調査（資料編）、基本コンセプト（第3章）、求められる機能と役割の整理（第4章）をした上で、「ハナトピア岩沼利活用検討委員会」（以下「検討委員会」という。）での検討結果を踏まえながら、基本構想図の作成（第5章）にとりまとめます。

今後、本基本構想を踏まえ、リニューアルに向けて引き続き取り組みます。



[リニューアルまでの流れと目標年度]



[基本構想の構成]

1-3 基本構想策定の経緯

本基本構想の検討過程では、有識者や市民で構成する検討委員会において、現状と課題の整理やサウンディング調査、リニューアルのコンセプト、求められる機能と役割などについてワークショップを行いながら検討しました。

[基本構想策定に係る経緯]

日付	名称	内容
2022年8月25(木)	第1回検討委員会	基本構想策定の概要説明、利用者アンケート調査の結果、サウンディング調査実施方法
2022年10月19(水)	第2回検討委員会	サウンディング調査の結果、子育て世代アンケート調査の結果、導入施設・機能(案)
2022年11月17(木)	第3回検討委員会	基本構想(中間案)、ゾーニング案
2022年12月16(金)	第4回検討委員会	基本構想(素案)、基本構想イメージ図(素案)



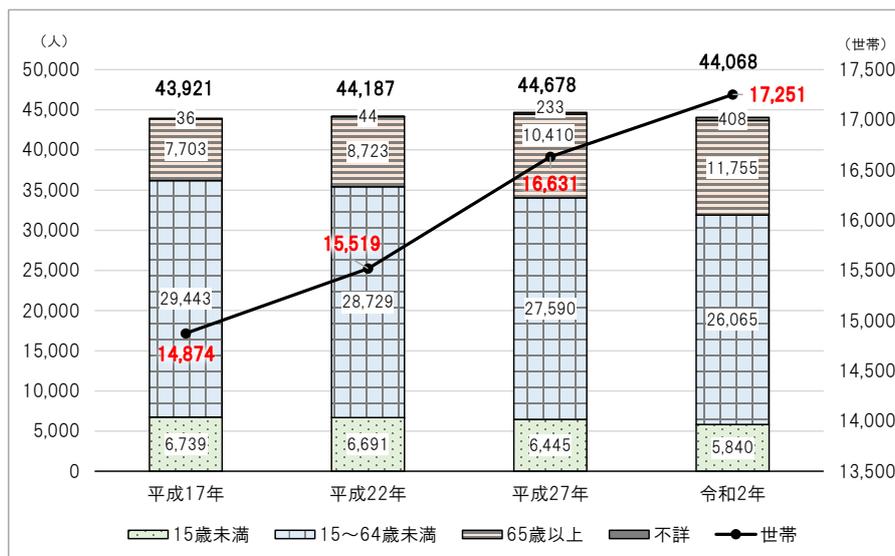
[検討委員会の様子]

第2章 現状と課題の整理

2-1 地域概況

(1) 人口と世帯数

令和2年度国勢調査における本市の総人口は、44,068人であり、平成27年をピークに減少傾向となっています。また、年齢3区分別人口の構成についてみると、15歳未満の構成比が13.3%、15歳～64歳が59.1%、65歳以上が26.7%となっており、15歳未満及び15歳～64歳未満の人口は減少傾向となっている一方、65歳以上は増加傾向です。さらに、世帯数については、年々増加しています。



[総人口、世帯数の推移]

出典：国勢調査

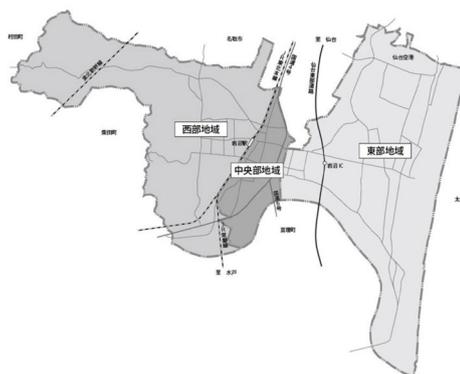
(2) 本市の農業を取り巻く状況

本市の土地利用を地目別にみると、平成29年度末においては田が22.9%と最も多く、次いで山林18.7%、宅地17.7%、畑が8.4%となっています。東北の中心都市である仙台市の近くに位置しているため、都市化と宅地化は進んでいますが、農業的土地利用（田22.9%+畑8.4%）は31.3%です。

本市は、自然的・社会的・農業経営的条件によって「西部地区」と「東部地区」の2地区に分かれています。

「西部地区」では、低地に位置する田において農業生産基盤整備事業が進められています。丘陵地に位置する畑では、露地野菜、果樹が作付けされ、また施設花き・きゅうり、畜産も行われています。

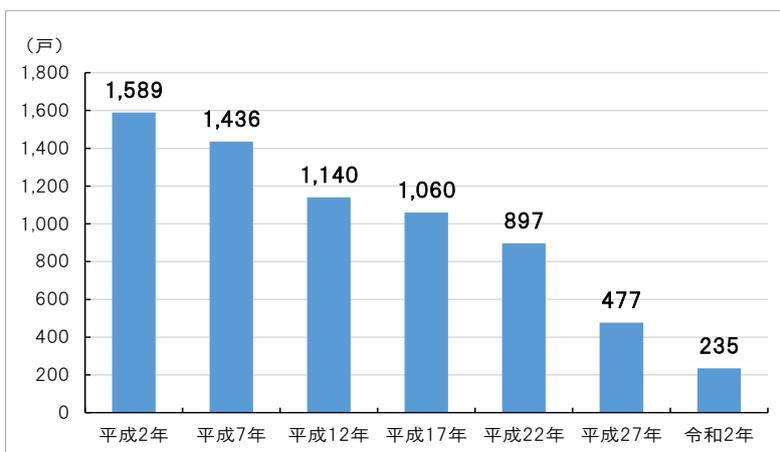
「東部地区」では、農業生産基盤整備事業がおおむね完了した田において、農地の利用集積も進み、水稻と大豆による土地利用型農業が行われています。畑では、露地野菜、施設きゅうり、メロンの栽培が行われています。



[地域区分]

(出典：岩沼市国土利用計画(第五次))

また、農家数は減少傾向にあり、平成22年から令和2年までの10年間では総数で662戸の減少となっています。さらに、令和2年の農業産出額は189千万円であり、そのうち米が124千万円で、半数以上を占めています。



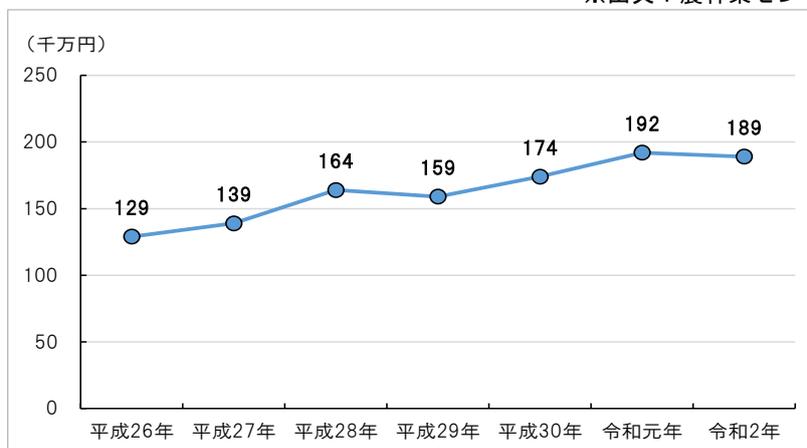
[販売農家数の推移] ※出典：農林業センサス

[品目別農業産出額の推移]

(単位:千万円)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
農業産出額(推計)	129	139	164	159	174	192	189	
農業経営体数	-	490	-	-	-	-	264	
耕種	小計	123	132	156	152	167	185	182
	米	75	83	107	105	118	132	124
	麦類	0	0	0	-	0	0	0
	雑穀	0	0	-	0	0	0	0
	豆類	4	2	4	3	3	3	5
	いも類	1	1	1	1	0	0	0
	野菜	36	37	39	38	39	43	45
	果実	2	2	2	2	2	4	5
	花き	4	4	4	4	4	x	x
	工芸農作物	0	0	0	0	0	0	0
	その他作物	1	1	0	0	0	x	x
畜産	小計	7	7	7	7	7	7	7
	肉用牛	1	2	2	2	2	2	1
	乳用牛	4	4	4	4	4	5	5
	生乳	4	4	4	4	4	x	x
	豚	-	-	-	-	-	-	-
	鶏	1	1	1	1	1	0	0
	鶏卵	1	1	1	1	1	0	0
	その他畜産物	-	-	-	-	-	0	0
加工農産物	0	0	0	0	0	0	0	

※出典：農林業センサス

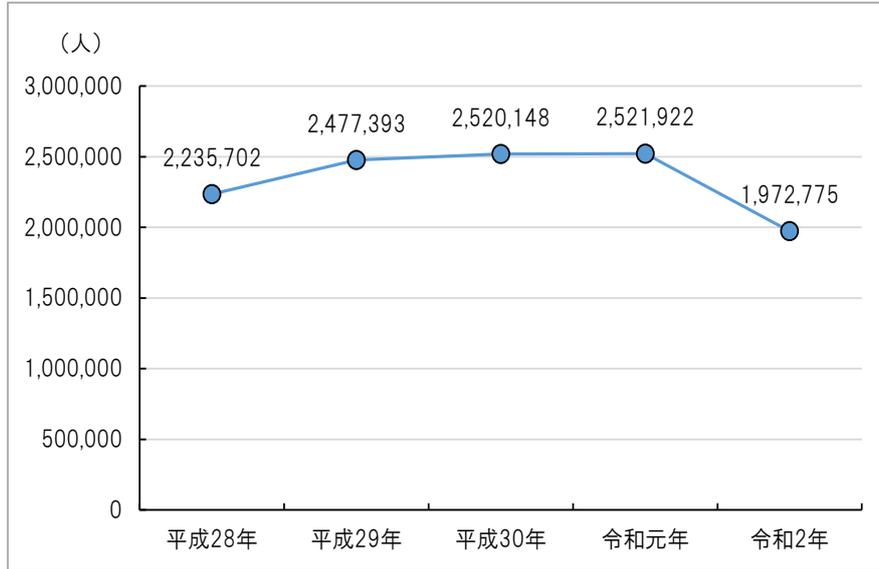


[農業産出額]

(3) 観光資源と観光入込客数

本市の令和2年度の観光入込客数は、1,972,775人と新型コロナウイルスの影響により減少傾向となっています。

また、最も多い施設は、「竹駒神社」の1,354,500人となっています。計画対象である「ハナトピア岩沼」は、124,231人で市全体の3番目に位置しています。



[観光入込客数の推移] ※出典：宮城県観光統計

[本市の観光資源と観光入込客数]

観光資源	観光種目	観光入込客数 (人、%)		
		令和元年	令和2年	伸び率
竹駒神社	歴史・文化	1,673,000	1,354,500	△19.0
金蛇水神社	歴史・文化	266,536	207,129	△22.3
ハナトピア岩沼	歴史・文化	131,219	124,231	△5.3
グリーンピア岩沼	スポーツ・レクリエーション	154,330	80,287	△48.0

※出典：宮城県観光統計

2-2 上位関連計画の整理

ハナトピア岩沼利活用（リニューアル）に関する上位関連計画を以下に整理します。

(1) いわぬま未来構想

発行年月	平成 26 年 3 月
計画期間	平成 26（2014）年度から令和 5（2023）年度まで
まちづくりの 基本理念	<p>○これまで経験したことのない将来の状況を可能な限り見据え、時々の要請や不測の状況変化にも的確に対応できるよう、これまでの参画と連携に加え、自助・共助・公助の考え方を行政の基本とし、計画的かつ臨機応変に各々の役割を主体的かつ積極的に果たすことで、これからのまちづくりを進めていきます。</p> <p>また、市民が主体的に行う地域づくりやまちづくりを積極的に支援します。</p> <p>○市民一人ひとりが、自立した生活に対する責任とまちづくりの主役であるという自覚を持ち、自らが住みたい、住み続けたいと思う地域づくりやまちづくりに主体的に取り組んでいきます。</p>
将来都市像	 あふれる“健幸”先進都市 いわぬま
まちづくりの 柱	<ul style="list-style-type: none"> ■安全・安心で快適な「まち」づくり ■健康で長生き、地域で子育てできる「環境」づくり ■人が集まる「産業」づくり ■生涯現役で心豊かな「人」づくり
「交流人口」 に関する位置 付け	<p>■人が集まる「産業」づくり</p> <p>民間活力による発展が期待される仙台空港や仙台東部道路、国道 4 号・6 号が所在する交通利便性、歴史・文化などの有形無形の地域資源などを活かし、本市の発展を支えてきた農・商・工業を活性化するとともに、観光の振興を図ります。</p> <p>また、働く場の確保のため、各産業を支える基盤整備や創業支援の充実などに努めるとともに、積極的な企業誘致に加え、健康医療産業集積地や国際物流拠点の整備、被災地域を中心とした 6 次産業化や地産地消の推進、新たな地域資源の開発・発掘や対外的な PR など積極的にを行い、仙台都市圏南部ゾーンを中心として、労働者や観光客など人が多く集まる産業づくりを進めます。</p>
「子育て」に 関する位置 付け	<p>■生涯現役で心豊かな「人」づくり</p> <p>子どもから高齢者に至るまでの様々な場面における学習、文化、スポーツ活動などの環境を整えるとともに、住民や各種団体など市民が主体となった諸活動支援を充実させることにより、誰もが生きがいを持って暮らせる環境づくりを進めます。</p> <p>また、世代や立場を超えた市民の交流や、家庭、地域社会、学校での諸活動や学習を通じて、自然、歴史、文化を大切にし、人々の多様な価値観を認め合う心豊かな人を育てる環境づくりを進めます。</p>

(2) 第2期岩沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略

発行年月	令和2年3月
計画期間	令和2(2020)年度から令和6(2024)年度まで
基本目標	<p>1 安定した雇用を創出し維持する～岩沼で仕事しよう！～</p> <p>2 新しいひとの流れをつくる～魅力を伝えよう！岩沼で暮らそう！～</p> <p>3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる～岩沼で家族になろう！～</p> <p>4 共創のまちをつくとともに、地域と地域を連携する～岩沼でつながろう！～</p>
「農業振興」に関する位置付け	<p>【安定した雇用を創出し維持する～岩沼で仕事しよう！～】</p> <p>■強い農業づくり</p> <p>農地の大規模化や集約化、経営の効率化等を図るとともに、農業の高付加価値化を進めて、安定した農業の経営基盤づくりを推進します。</p> <p>また、組織化・法人化された経営体への支援を推進し、農業の継続性を確保するとともに、新規就農者所得補償制度の活用や子どもの農業体験等、新たな担い手の育成や意識の醸成に努めます。</p> <p>さらに、ICT等の先端技術を活用したスマート農業について、モデル的な取組を推進します。</p>
「交流人口」に関する位置付け	<p>【新しいひとの流れをつくる～魅力を伝えよう！岩沼で暮らそう！～】</p> <p>■交流人口・関係人口の創出・拡大</p> <p>復興のシンボルである「千年希望の丘」の活用を推進するとともに、ボランティアによる植樹や育樹、震災語り部の活用等を通じて、震災伝承・防災教育を兼ねた復興ツーリズムの充実を図ります。</p> <p>また、近隣市町との連携による観光・物産振興に引き続き取り組むとともに、エアポートマラソンなどのイベントを通じて交流促進、関係人口の創出・拡大に努めます。</p>

(3) 岩沼市都市計画マスタープラン

発行年月	平成29年3月
計画期間	平成29(2015)年度から平成47(2035)年度まで
都市づくりの将来目標	<p>1. 全ての人々が安全・安心に暮らせる都市づくり</p> <p>2. 快適で豊かな生活がある都市づくり</p> <p>3. 産業振興による活力ある都市づくり</p> <p>4. 持続可能で機能的な都市づくり</p> <p>5. 市民との協働による都市づくり</p>
ハナトピア岩沼に関する位置付け	<p>(4) 地域づくりの整備・保全の方針 4) 公益的施設</p> <p>ハナトピア岩沼は、市民のニーズを把握し、施設のあり方について検討します。</p>

(4) 岩沼市公共施設等総合管理計画

発行年月	令和4年3月
計画期間	平成28(2016)年度から令和27(2045)年度まで
基本的な方向性	「市民ニーズに応じた行政サービスの提供と健全な財政運営」 ～  があふれる 健幸 先進都市いわぬまの実現に向けて～
「産業系施設」に関する位置付け	IV 2 (5) ①点検・診断等 ・引き続き、計画的かつ効率的な点検、診断等に取り組みます。 ②維持管理・更新等 ・修繕は、必要に応じて実施しています。引き続き、点検・診断結果を踏まえ、修繕等の優先度を判断し、計画的かつ予防的な維持管理・更新等に取り組みます。 ③耐震化・安全確保 ・農村環境改善センターは築30年を経過し、老朽化が進行していることに加え、軟弱地盤のため地盤が沈下していることから、徹底した安全確保に取り組みます。 ④長寿命化 ・ハナトピア岩沼については、「岩沼市公共施設長寿命化計画」に基づき、施設の長寿命化に取り組みます。 ⑤統合や廃止 ・ハナトピア岩沼は、周辺施設の立地状況や市民ニーズを踏まえつつ、農村環境改善センターの機能を移設統合する等、統廃合に向けた検討を進めます。 ⑥管理体制 ・ハナトピア岩沼は、より効率的な管理運営と更なる市民サービスの向上に向けて、指定管理者制度等の導入を検討します。

(5) 岩沼市公共施設長寿命化計画

発行年月	令和3年7月
計画期間	令和3(2021)年度から令和28(2046)年度まで
「施設整備」に関する位置付け	・ハナトピア岩沼の建物の総合劣化度による優先度は非常に低く、農村環境改善センターの建物の優先度は比較的高いです。 ・ハナトピア岩沼の建物の目標使用年数は50年で残り約30年、農村環境改善センターの建物は80年であり、残り48年です。

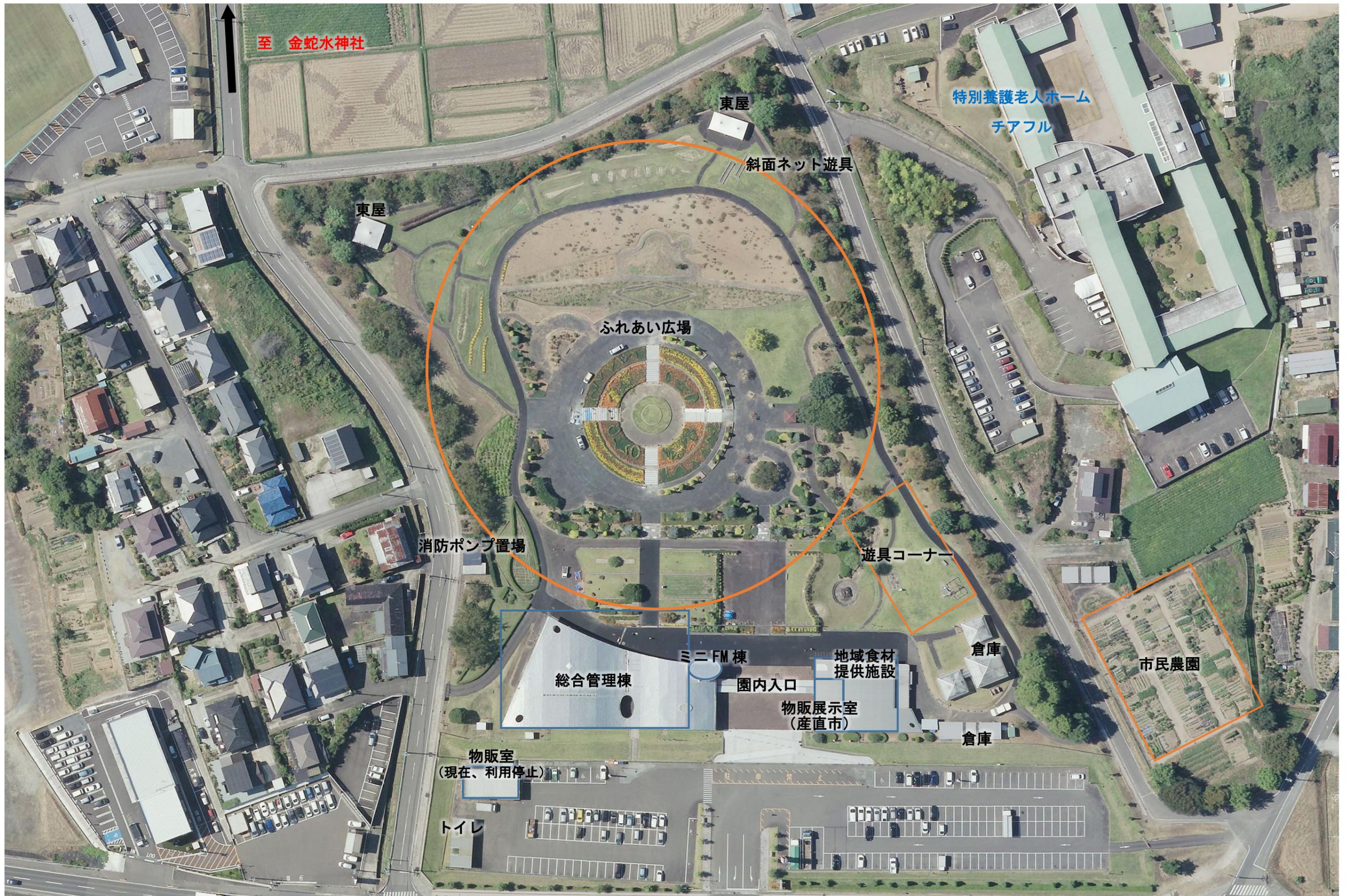
2-3 ハナトピア岩沼の施設概要

(1) ハナトピア岩沼の概要

名称	ハナトピア岩沼	
運営主体	岩沼市	
位置	岩沼市三色吉字雷神 7-1	
面積	4.8ha	
施設内容	地域食材提供施設、物販展示室、総合管理棟、ミニFM施設、遊具コーナー、ふれあい広場、市民農園	
開園時間	午前9時～午後5時	
開館時間	午前9時～午後9時	
休業日	12月28日～1月4日	
これまでの経緯	平成10年4月 平成11年4月 平成14年5月 平成23年2月 平成25年1月 平成29年8月 令和4年5月	ハナトピア岩沼オープン※(株)岩沼市地域活性化センターが運営 ハナトピア岩沼を市直営とする レストラン 開店 レストラン 閉店 ハナトピア岩沼あり方検討委員会(外部委員)報告書提出 ラーメン店 開店 ラーメン店 閉店



[ハナトピア岩沼 位置図]



ハナトピア岩沼では毎月市内在住または市内在勤者の方を優先に体験講座を実施しています。
令和4年度に開催される体験講座の内容は、以下のとおりです。

[体験講座日程表 (令和4年度)]

	お菓子&パン料理	雑貨ペイント	フラワーアレンジ	寄せ植え(プランツギザリング)	農産加工	家庭菜園	農産加工	初めてのガーデニング
	只木 満理 先生	曳地 未紀 先生	山本 明美 先生	小泉 富士子 先生	布田 貴子 先生	藤井 薫 先生	藤井 薫 先生	菅原 麗也 先生
4月	4/24(日)10時～13時 お菓子&パン教室	4/21(木)①8時30分～12時 ②13時～15時30分 食器絵付け体験	4/18(月)13時30分～15時 初心者向け基本のアレンジ 生花のラウンドスタイル	4/17(日)①10時30分～12時 ②13時30分～15時 ガーデンマスコット作り (缶ズゴケでモスアニマル作り)		4/10(日)14時～16時 トマト、ナス等の植え付け準備		4/14(木)10時～11時 季節の植物を使用した寄せ 植え作り
5月	5/22(日)10時～13時 お菓子&パン教室	5/19(木)①8時30分～12時 ②13時～15時30分 ブリキにペイント	5/16(月)13時30分～15時 季節の生花のアレンジ	5/15(日)①10時30分～12時 ②13時30分～15時 アロマスプレー作り		5/8(日)14時～16時 トマト、ナス等の栽培管理		5/12(木)10時～11時 季節の植物を使用したハンギ ングバスケット作り
6月	6/19(日)10時～13時 お菓子&パン教室 (父の日教室)	6/16(木)①8時30分～12時 ②13時～15時30分 ジェルキャンドル	6/20(月)13時30分～15時 生花のウェディングブーケ	6/19(日)①10時30分～12時 ②13時30分～15時 プランツギザリング (観葉植物セルティープーケ)	今年度は、「農産加工」の 開催予定はありません。	6/12(日)14時～16時 きゅうり、いんげん等の栽培 管理		6/未定()10時～11時 高級草を使った花壇作りと管 理方法
7月	7/3(日)10時～13時 料理教室 7/24(日)10時～13時 お菓子&パン教室	7/21(木)①8時30分～12時 ②13時～15時30分 トートバックにペイント	7/18(月)13時30分～15時 お子様も楽しめる かんたんアレンジ	7/17(日)①10時30分～12時 ②13時30分～15時 70mlバスソルト、70mlバスム作			7/24(日)13時～16時 しそジュース作り	
8月	8/21(日)10時～13時 お菓子&パン教室	8/18(木)①8時30分～12時 ②13時～15時30分 ガラスのスプーン作り	8/8(月)13時30分～15時 お仏壇のプリザーブドフラ ワー	8/21(日)①10時30分～12時 ②13時30分～15時 ハーバリウムのようなジェル キャンドル作り		8/14(日)14時～16時 白菜、タマネギなどの播種準備		
9月	9/11(日)10時～13時 お菓子&パン教室	9/15(木)①8時30分～12時 ②13時～15時30分 カゴにペイント	9/19(月)13時30分～15時 季節のアレンジ	9/18(日)①10時30分～12時 ②13時30分～15時 アロマワックスシャユ作り		9/11(日)14時～16時 ホウレンソウ、ダイコンなどの 播種準備		9/未定()10時～11時 未定
10月	10/23(日)10時～13時 お菓子&パン教室	10/20(木)①8時30分～12時 ②13時～15時30分 食器絵付け	10/17(月)13時30分～15時 季節のアレンジ	10/16(日)①10時30分～12時 ②13時30分～15時 プランツギザリング (秋の寄せ植え)		10/2(日)14時～16時 タマネギなどの栽培		10/未定()10時～11時 未定
11月	11/20(日)10時～13時 お菓子&パン教室	11/24(木)①8時30分～12時 ②13時～15時30分 木エリースにトール&デコ	11/21(月)13時30分～15時 クリスマス飾りを作ろう	11/20(日)①10時30分～12時 ②13時30分～15時 プランツギザリング (クリスマスの寄せ植え)		11/6(日)14時～16時 たくあん、ハクサイの漬け方		
2月	12/10(土)10時～13時 料理教室 12/18(日)10時～13時 クリスマスケーキ教室	12/15(木)①8時30分～12時 ②13時～15時30分 クリスマスキャンドル	12/26(月)13時30分～15時 お正月の生花アレンジ	12/18(日)①10時30分～12時 ②13時30分～15時 プランツギザリング (お正月の寄せ植え)		12/4(日)10時～12時 ・黒豆の煮かた ・ホームベーカリーでのパン 作り 12/11(日)9時30分～13時 こんにゃく作り		12/未定()10時～11時 未定
1月	1/22(日)10時～13時 お菓子&パン教室	1/19(木)①8時30分～12時 ②13時～15時30分 2023干支木エウさぎ	1/16(月)13時30分～15時 コラージュ、壁飾り作り	1/22(日)①10時30分～12時 ②13時30分～15時 多肉植物の寄せ植え		1/8(日)9時30分～13時 こんにゃく作り		
2月	2/12(日)10時～13時 バレンタインお菓子教室	2/16(木)①8時30分～12時 ②13時～15時30分 コースターにトール&デコ	2/27(月)13時30分～15時 ひなまつりの生花アレンジ	2/19(日)①10時30分～12時 ②13時30分～15時 プランツギザリング (早春の寄せ植え)	2/26(日)①10時～12時 漬物教室(白菜キムチ) 講師:布田 先生	2/5(日)14時～16時 ヨーグルト、甘酒の作り方 2/10(金)9時30分～13時 こんにゃく作り		
3月	3/12(日)10時～13時 お菓子&パン&料理教室	3/16(木)①8時30分～12時 ②13時～15時30分 コルクボードにペイント	3/20(月)13時30分～15時 プリザーブドフラワーアレンジ	3/19(日)①10時30分～12時 ②13時30分～15時 プランツギザリング (春の寄せ植え)		3/5(日)14時～16時 ジャガイモの栽培		
合計 8回	全14回	全24回	全12回	全24回	全1回	全8回	全7回	全6回

(2) ハナトピア岩沼の利用状況

ハナトピア岩沼の利用者状況は、新型コロナウイルス感染拡大による休館の影響で減少したものの、その後増加傾向にあり、一定数の利用が見られます。

[ハナトピア岩沼の利用者状況]

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ハナトピア岩沼入場者数	132,701	131,458	129,429	127,924	139,960
総合管理棟利用者数	13,628	13,938	12,620	6,142	11,142
体験加工室	1,070	998	1,189	775	738
コンピュータ室	194	339	135	230	1,783
研修室 第1・2	11,916	10,621	10,625	5,018	8,345
展示ギャラリー	448	1,980	671	119	276
施設来客者数	55,824	69,777	65,315	54,828	54,857
地域食材提供施設（レストラン）	34,714	49,425	48,564	38,905	40,125
物販展示室（産直施設）	19,068	18,962	16,751	15,923	14,732
物販室（花木センター）	2,042	1,390	-	-	-

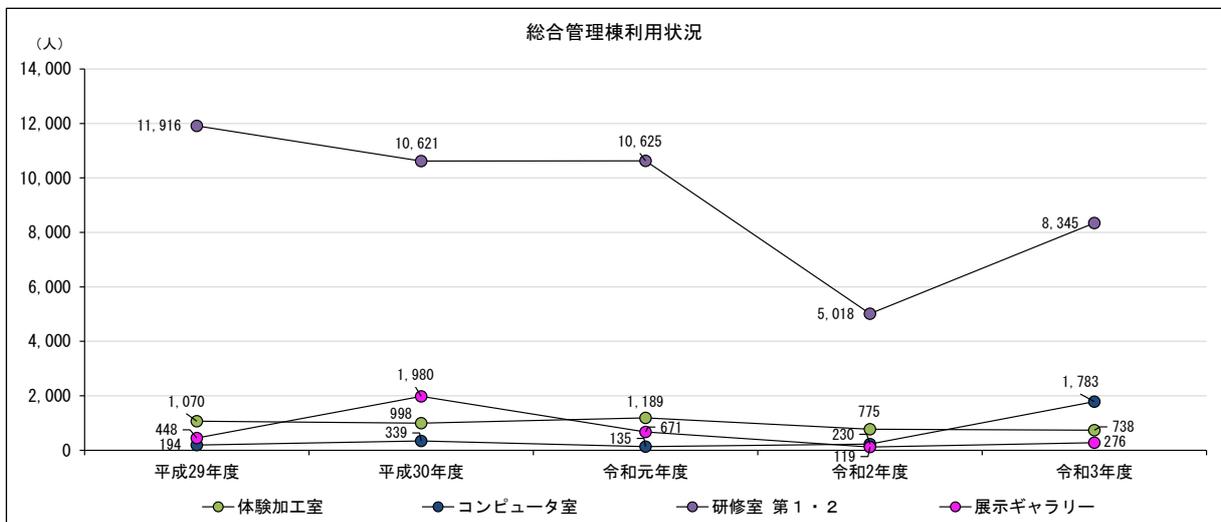
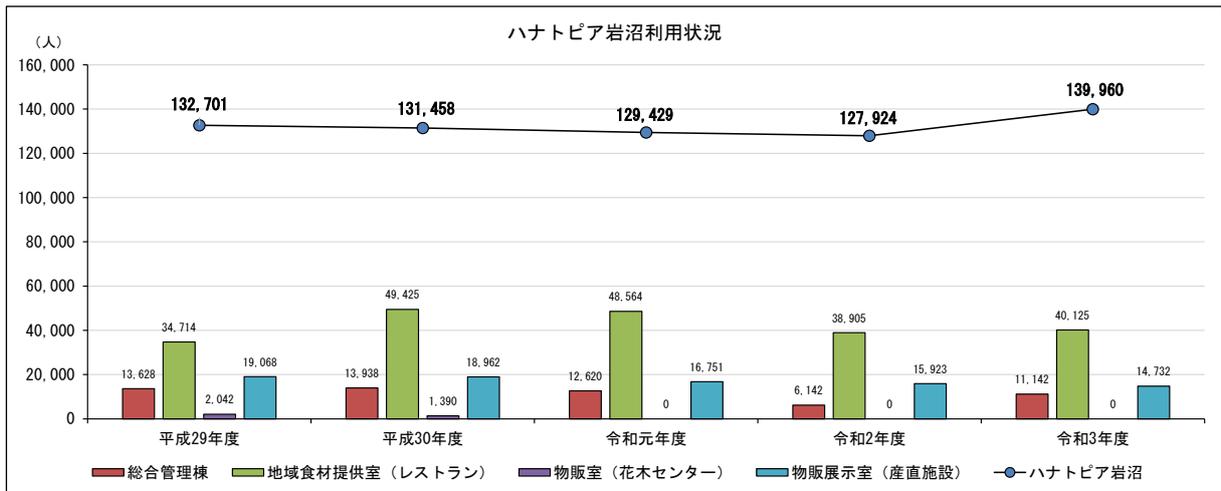
※新型コロナウイルス感染症予防のための休館期間

① 令和2年2月29日～5月17日

② 令和3年3月27日～5月11日

③ 令和3年8月27日～9月12日

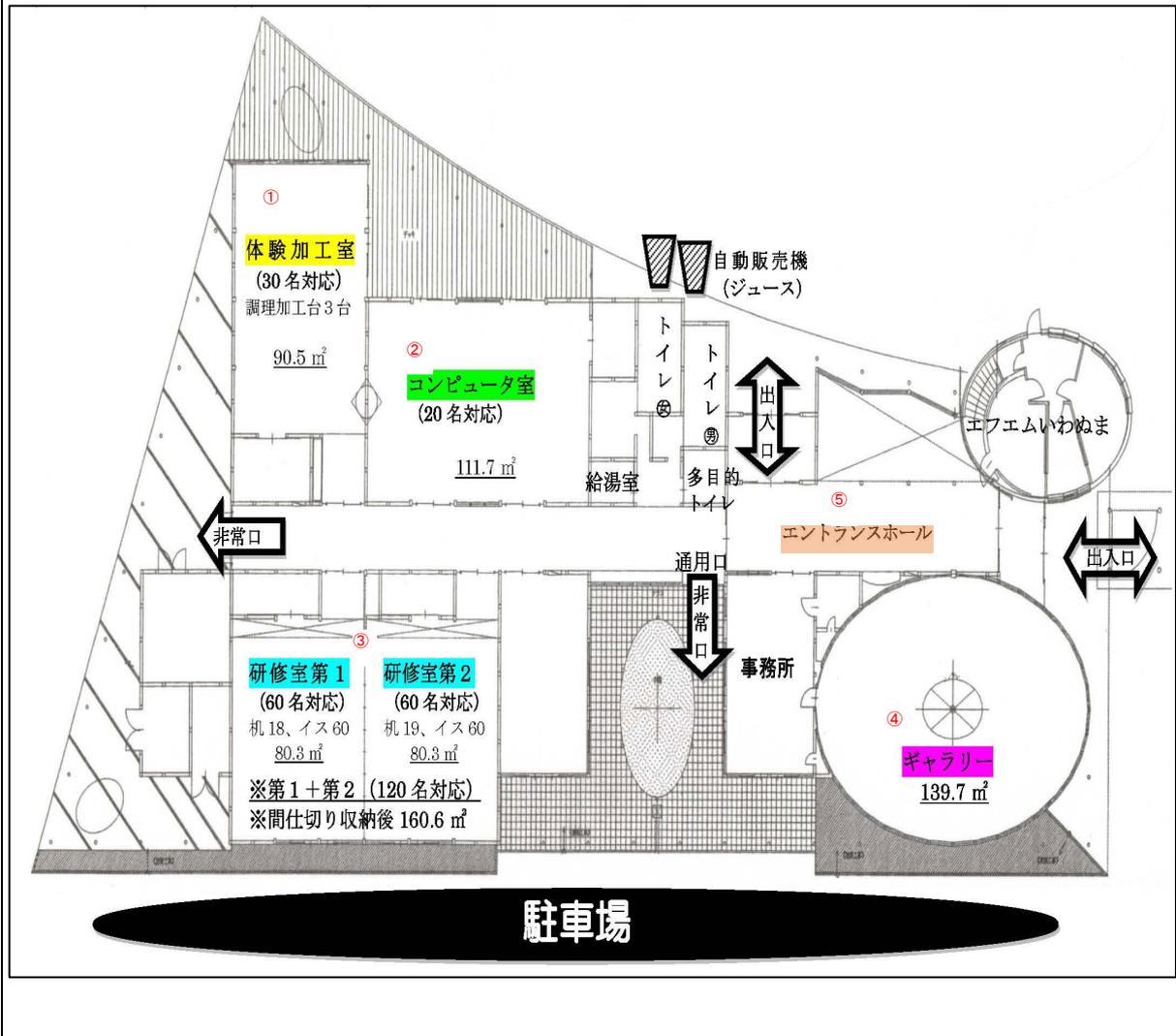
計58日



(3) ハナトピア岩沼の施設概要

各施設の概要を、市借用資料を基にカルテ形式で整理します。

施設名	総合管理棟	No.	1
構造・規模	木造平屋建て 延床面積：958.57㎡		
建築確認	平成9年2月10日		



施設概要

①体験加工室

様々な料理器具がそろっており、お菓子教室などで利用されています。



②コンピュータ室

以前は、固定のパソコンが設置されており、農業経営の方々が利用していました。

現在は、LAN ケーブルは設置されていますが、固定のパソコンは設置されていない状態です。



③研修室第1、2

フラワーアレンジメントやガーデニングの体験講座で利用されているほか、サークル活動や会議室としても利用されています。



④ギャラリー

秋の収穫祭等のイベント時には、体験教室での活動における作品を展示する場。

普段は太極拳やヨガ、ダンス等で利用されています。



⑤エントランスホール



施設名	ミニFM棟	No.	2
構造・規模	鉄筋コンクリート 2階建て 延床面積：98.64㎡		
用途	情報通信施設		
建設年度	平成9年2月10日		
施設概要	総合管理棟に併設しており、まちの情報を発信しています。		



施設名	物販展示室	No.	3
構造・規模	木造平屋建て 延床面積：89.43㎡		
用途	農産物直売所		
建設年度	平成13年12月27日		
施設概要	毎週土・日曜日に「ハッピー旬の市」を開催している農産物直売所。地元の新鮮な野菜や果物、加工物を提供しており、市外から来訪してくる人も多く、午前中で売り切れることが多いです。		



施設名	地域食材提供施設	No.	4
構造・規模	木造平屋建て 延床面積：397.71㎡		
用途	飲食店		
建設年度	平成10年3月12日		
施設概要	物販展示室と併設しています。 2022年5月30日までラーメン屋が営業。		



施設名	ふれあい広場	No.	5
構造・規模	-		
用途	修景・広場		
建設年度	-		
施設概要	四季折々の花を鑑賞することができる広場。 散策道や休憩できる東屋、ブランコやすべり台等の遊具コーナーや簡易遊具、ベンチも整備されています。 また、子ども用の自転車や三輪車も無料貸し出ししています。 せせらぎ・じゃぶじゃぶ池は現在使用していません。		



中央花壇



散策路



じゃぶじゃぶ池



遊具コーナー



簡易遊具



せせらぎ

施設名	市民農園	No.	6
構造・規模	60区画 約25㎡/1区画		
用途	畑		
建設年度	-		
施設概要	市民が農業を体験できる農園。 市民を対象に、毎年体験農園の利用者を募集しています		



施設名	物販室	No.	7
構造・規模	軽量鉄骨造 延床面積：133.53㎡		
用途	倉庫		
建設年度	平成10年3月25日		
施設概要	以前は花木・花苗の販売をする「花木センター」として建物を利用していましたが、現在は利用されていない状況です。		



2-4 農村環境改善センターの施設概要

(1) 農村環境改善センターの概要

名称	農村環境改善センター
位置	岩沼市北長谷字樋下 224-1
面積	4,652 m ²
施設内容	多目的ホール、生活集団活動室、農事研修室、農産物加工室
開設	昭和 63 年



[農村環境改善センター位置図]



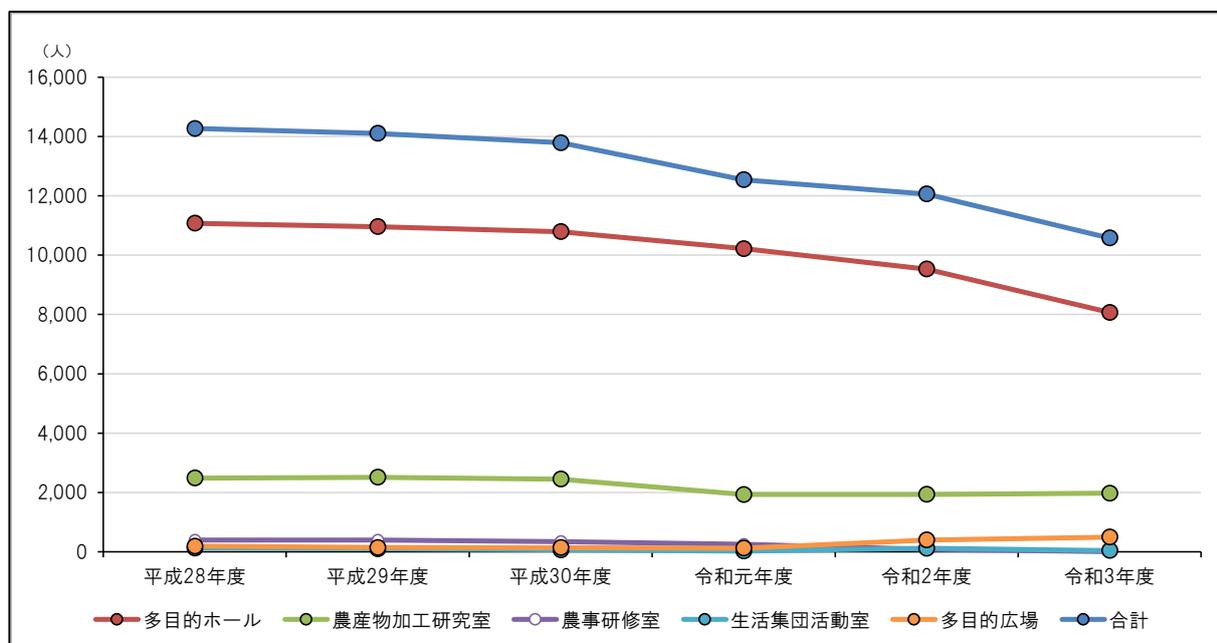
[農村環境改善センター平面図]

(2) 農村環境改善センターの利用状況

農村環境改善センターの利用者状況は、近年減少傾向にあります。

[農村環境改善センターの利用者状況]

室名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
多目的ホール	11,077	10,960	10,792	10,217	9,531	8,067
農産物加工研究室	2,487	2,511	2,449	1,928	1,933	1,973
農事研修室	392	393	343	250	84	3
生活集団活動室	127	98	66	26	116	43
多目的広場	188	145	140	123	397	493
合計	14,271	14,107	13,790	12,544	12,061	10,579



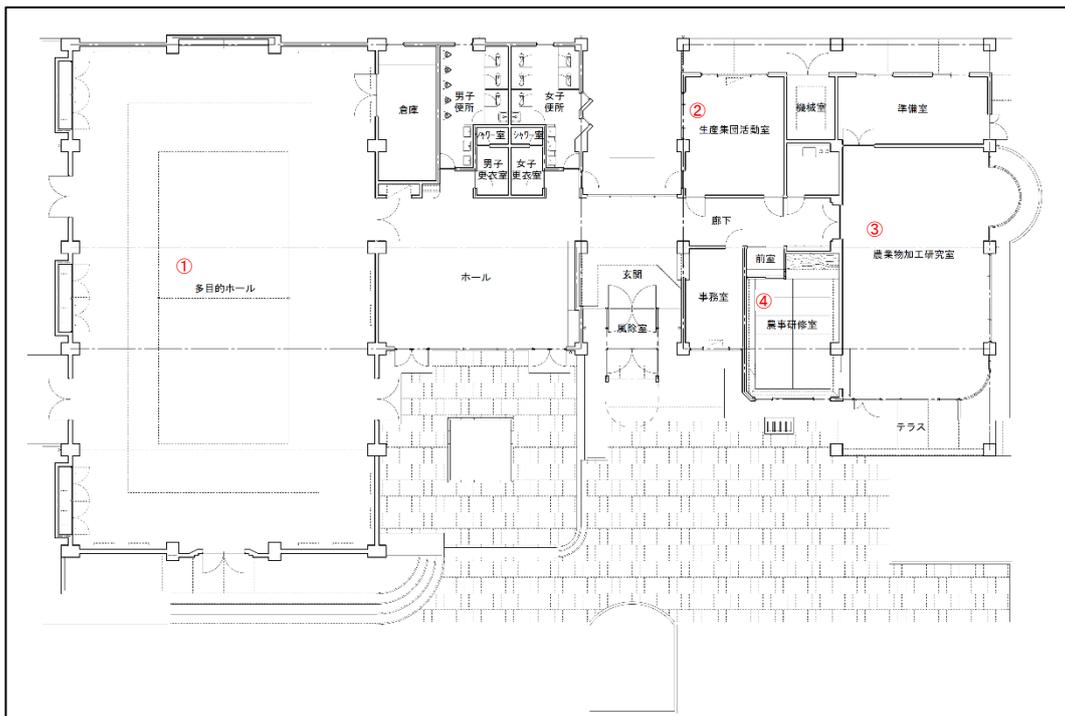
(3) 農村環境改善センターの施設概要

施設の概要を、市借用資料を基にカルテ形式で整理します。

施設名	本館	No.	1
構造・規模	鉄筋コンクリート（一部鉄骨平屋） 延床面積：794.8㎡		
建設年度	昭和63年6月15日		



軟弱な地盤の影響により、
建物外周部分が沈下している。



施設概要

①多目的ホール

バレーボール、卓球、空手、ダンス等の練習場として利用されています。施設の中で利用頻度が最も多いです。また、老朽化により天井から雨漏りが発生しています。



②生活集団活動室

学習指導や囲碁等で利用されています。



③農産加工研究室

味噌や豆腐、リンゴジュース作り等で利用されています。



施設概要

④農事研修室

味噌づくり等の休憩場所として利用されています。



⑤多目的広場

小学生を対象としたサッカー教室で利用されています。



2-5 現状と課題

地域概況及び施設の利用状況等の整理を踏まえて、市全体の課題とハナトピア岩沼の持つ課題を以下に整理しました。

(1) 市全体から見た現状と課題

①農業の拠点づくり

- ・ 農業従事者の高齢化や、担い手不足による生産性の低下が問題視されており、子どもの農業体験等を行い、地域産業への意識醸成のための拠点として整備していく必要があります。
- ・ また、6次産業化や地産地消の推進、対外的なPRの取組も必要です。

②賑わいと交流の拠点づくり

- ・ 人口減少・少子高齢化を踏まえ、観光客や地域への滞在者といった交流人口を拡大させることで、地域活性化を図っていく必要があります。
- ・ 市内の観光施設、交流施設等と連携を図りながら、本市の交流人口の拡大に資する拠点として整備していく必要があります。
- ・ また、子どもから高齢者まで世代を超えた市民の交流や学習を通じて、自然、歴史、文化に触れあうことのできる地域活動の拠点となる場づくりを進めていく必要があります。

(2) ハナトピア岩沼の現状と課題

①時代のニーズに対応した魅力の向上

- ・ ハナトピア岩沼は、花をテーマとする街づくりと地域の活性化と消費者の食と農のつながりの創出を目的とする施設となっており、園内には季節の花々が咲き、自然を感じられるとともに、農産物直売所や体験講座等が設けられており、観光客の来訪や市民交流の場となっています。
- ・ しかし、土日に開催される産直市の会では賑わいを見せていますが、平日は使用されていません。また、管理棟の一部の施設においても、整備後24年経過しており利用者ニーズとのずれが見られるほか、あまり利用されていない部屋も見られます。
- ・ 現在、あまり利用されていない施設や利用目的が明確でない施設に関しては、地域住民や利用者の意向等を踏まえ、その利活用方針を検討し、時代のニーズに対応したより魅力的な施設にしていく必要があります。

②施設の長寿命化への対応

- ・ 園内の散策路の一部で亀裂の発生や施設・設備等の塗装のはがれ等が進んでいます。これは、整備後 24 年が経過していることに加え、維持管理の複雑さが要因となっています。
- ・ 将来にわたって施設を長く利用できるよう、計画的な修繕やリニューアルを検討していく必要があります。



[散策路の亀裂]



[塗装のはがれ]

③バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応

- ・ 手すりやスロープの未設置や案内板のわかりにくさ等の課題があります。
- ・ 高齢者や障害者、子どもたち等、誰もが安心・安全に利用できる施設整備としていくため、バリアフリーの徹底やわかりやすい案内板設置等を検討していく必要があります。

④収益増加につなげるための管理運営方法の検討

- ・ 地域食材提供施設から飲食店が撤退したことに伴い、来客者が減少していくと想定されます。
- ・ 民間事業のノウハウを取り入れ、レストラン等の収益機能の導入検討やイベント開催等のソフト対策も検討していく必要があります。

(3) 農村環境改善センターの課題

①財政負担軽減を見据えたあり方検討

- ・ 農村環境改善センターは、「農業及び農村の健全な発展」として、6次産業の研究・開発を推進する施設として位置付けられていますが、本来の目的として利用されている部屋が少なく、利用者数も年々減少しています。
- ・ さらに、軟弱な地盤の影響により建物外周部分の沈下の発生や建物の老朽化が進んでおり、雨漏りが発生している箇所も見受けられ、今後も改修等に多額の費用が見込まれます。
- ・ 現状の利用状況や施設の老朽化等を踏まえ、財政負担を軽減するためにも、ハナトピア岩沼との統廃合を含めた、農村環境改善センターのあり方について、地域住民や利用者の意向をできるだけ反映しながら検討していく必要があります。

2-6 まとめ

◆市の概況・ハナトピア岩沼及び農村環境改善センターの現状・上位関連計画等の位置付け
<p align="center">市の現状</p> <p>○本市の総人口（令和2年度）は、44,068人であり、平成27年の44,678人をピークに減少傾向となっています。また、年齢3区分別人口の構成についてみると、15歳未満の構成比が13.3%、15歳～64歳が59.1%、65歳以上が26.7%となっており、15歳未満及び15歳～64歳未満の人口は減少傾向となっている一方、65歳以上は増加傾向です。</p> <p>○販売農家数は減少傾向にあり、平成22年（897戸）から令和2年（235戸）までの10年間では総数で662戸の減少となっています。</p> <p>○本市の令和2年度の観光入込客数は、1,972,775人と新型コロナウイルスの影響により減少傾向となっています。（令和元年度の観光入込客数2,521,922人）</p>
<p align="center">ハナトピア岩沼の現状</p> <p>○休日のみしか利用されていない部屋やあまり利用されていない部屋が見られます。</p> <p>○園内の散策路の一部で亀裂の発生や施設・設備等の一部で老朽化が進んでいます。</p> <p>○手すりやスロープの未設置や案内板がわかりにくい状態です。</p> <p>○地域食材提供施設から飲食店が撤退したことに伴い、入場者の減少が懸念されます。</p> <p>○建設から25年を迎え、各種設備機器等の更新に係る費用が発生しています。</p>
<p align="center">農村環境改善センターの現状</p> <p>○本来の目的で利用されている部屋は少なく、利用者が年々減少しています。</p> <p>○軟弱な地盤により建物外周部分の地盤沈下の発生や建物の老朽化が進んでいます。</p> <p>○建設から築34年が経過し雨漏り等も発生しており、建物の補修・修繕費が増加傾向にあります。</p>
<p align="center">上位関連計画の位置付け</p> <p>○「いわぬま未来構想」（平成26年3月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まる「産業」づくり →6次産業化や地産地消の推進、新たな地域資源の開発・発掘や対外的なPR等も積極的に行い、仙台都市圏南部ゾーンの中心として、労働者や観光客等が多く集まる産業づくりを進めます。 ・生涯現役で心豊かな「人」づくり →世代や立場を超えた市民の交流や、家庭、地域社会、学校での諸活動や学習を通じて、自然、歴史、文化を大切に、人々の多様な価値観を認め合う心豊かな人を育てる環境づくりを進めます。 <p>○「第2期岩沼まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和2年3月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強い農業づくり →子どもの農業体験等、新たな担い手の育成や意識の醸成に努めます。 ・交流人口・関係人口の創出・拡大 →イベントを通じて交流促進、関係人口の創出・拡大に努めます。 <p>○「岩沼市都市計画マスタープラン」（平成29年3月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりの整備・保全の方針 →ハナトピア岩沼は、市民のニーズを把握し、施設のあり方について検討します。 <p>○「岩沼市公共施設長寿命化計画」（令和3年7月）</p> <ul style="list-style-type: none"> →ハナトピア岩沼の建物の総合劣化度による優先度は非常に低く、農村環境改善センターの建物の優先度は比較的高いです。 →ハナトピア岩沼の建物の目標使用年数は50年で残り約30年、農村環境改善センターの建物は80年であり、残り48年です。 <p>○「岩沼市公共施設等総合管理計画」（令和4年3月）</p> <ul style="list-style-type: none"> →ハナトピア岩沼は、周辺施設の立地条件や市民ニーズを踏まえつつ、農村環境改善センターの機能を移設統合する等、統廃合に向けた検討を進めます。 →ハナトピア岩沼は、より効率的な管理運営と更なる市民サービスの向上に向けて、指定管理者制度等の導入を検討します。

市全体から見た課題
<p>課題1 農業の拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの農業体験等新たな担い手確保・育成・意識醸成のための拠点を整備していく必要があります。 ・また、6次産業化や地産地消の推進、対外的なPRの取組も必要です。 <p>課題2 賑わいと交流の拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・少子高齢化を踏まえ、観光客や地域への滞在者といった交流人口を拡大させることで、地域活性化を図っていく必要があります。 ・市内の観光施設・交流施設等と連携を図りながら、本市の交流人口の拡大に資する拠点を整備していく必要があります。 ・また、子どもから高齢者まで世代を超えた市民の交流や学習を通じて、自然、歴史、文化に触れ合うことのできる地域活動の拠点づくりを進めていく必要があります。

ハナトピア岩沼の課題
<p>課題1 時代のニーズに対応した魅力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、あまり利用されていない施設や利用目的が明確でない施設に関しては、地域住民や利用者の意向等を踏まえ、その利活用方針を検討し、時代のニーズに対応したより魅力的な施設にしていく必要があります。 <p>課題2 施設の長寿命化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたって施設を長く利用できるよう、老朽化への対応や建物の性能向上等に向けた計画的な修繕やリニューアルを検討していく必要があります。 <p>課題3 バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害者、子どもたち等、誰もが安全・安心に利用できる施設整備としていくため、バリアフリーの徹底やわかりやすい案内板設置等を検討していく必要があります。 <p>課題4 交流人口の増加につなげるための方策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設全体の魅力を向上させ、交流人口の増加につなげていくためには、ハード対策に加え、イベント開催等のソフト対策の両面から検討して行く必要があります。 <p>課題5 管理運営方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政負担を軽減し、公共サービスの維持・向上を図るため、民間活力の活用等を検討していく必要があります。 ・民間事業のノウハウを取り入れ、施設全体やレストラン等の一部施設の収益機能等の導入を検討していく必要があります。
農村環境改善センターの課題
<p>課題1 財政負担軽減を見据えたあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の利用状況や施設の老朽化等を踏まえ、財政負担を軽減するためにも、ハナトピア岩沼との統廃合を含めた、農村環境改善センターのあり方について、地域住民や利用者の意向をできるだけ反映しながら検討していく必要があります。

第3章 基本コンセプト

3-1 コンセプト・整備方針

ハナトピア岩沼リニューアルのコンセプト・整備方針を下記のように設定します。

コンセプト

子どもの笑顔あふれるアグリステーション

整備方針1

「食育・木育・花育」を通して、 子どもの豊かな心を育む拠点づくり

- ・農業や食、木材、花や緑をはじめとした自然や文化とのふれあいにより、子どもたちの豊かな感性や心身の健やかな成長を育む空間を創出します。
- ・遊びや学びを通して、農林業を身近に体験できる場をつくり、地域産業や自然への愛着を醸成する場を創出します。
- ・遊びを通して、子どもの冒険心を育むことができる空間や子どもが自由にのびのび遊ぶことができる空間を創出します。



整備方針2

豊かな農業を活用し、「農」と「食」をつなぐ拠点づくり

- ・農産物等の安定した商品の販売や価値の向上（6次産業化）を推進する等、「農」と「食」をつなぎ、地域産業を支える場を創出します。
- ・地域の食材を取り入れた軽食を含む料理の提供や商品の販売を行う場を確保し、新たな販路の創出を図ります。



整備方針3

市内外からの人々が集い、 人と地域を「結ぶ」賑わいと交流の拠点づくり

- ・イベントや体験会等の開催により、賑わいの創出と市内外を含めた人と地域を「結ぶ」、交流の場を創出します。
- ・本市の魅力や観光情報、イベントや地域活動等の情報発信の場を創出し、地域ネットワークづくりを促進します。



整備方針4

来訪者が安全・安心に利用できる、誰にでもやさしい拠点づくり

- ・子どもから高齢者まで、誰もが安全・安心に施設を利用できるように、施設の修繕やリニューアルを行います。
- ・バリアフリーの対応や、分かりやすい案内サインを設置する等、全ての利用者にとって過ごしやすい空間を創出します。



3-2 ターゲットの設定

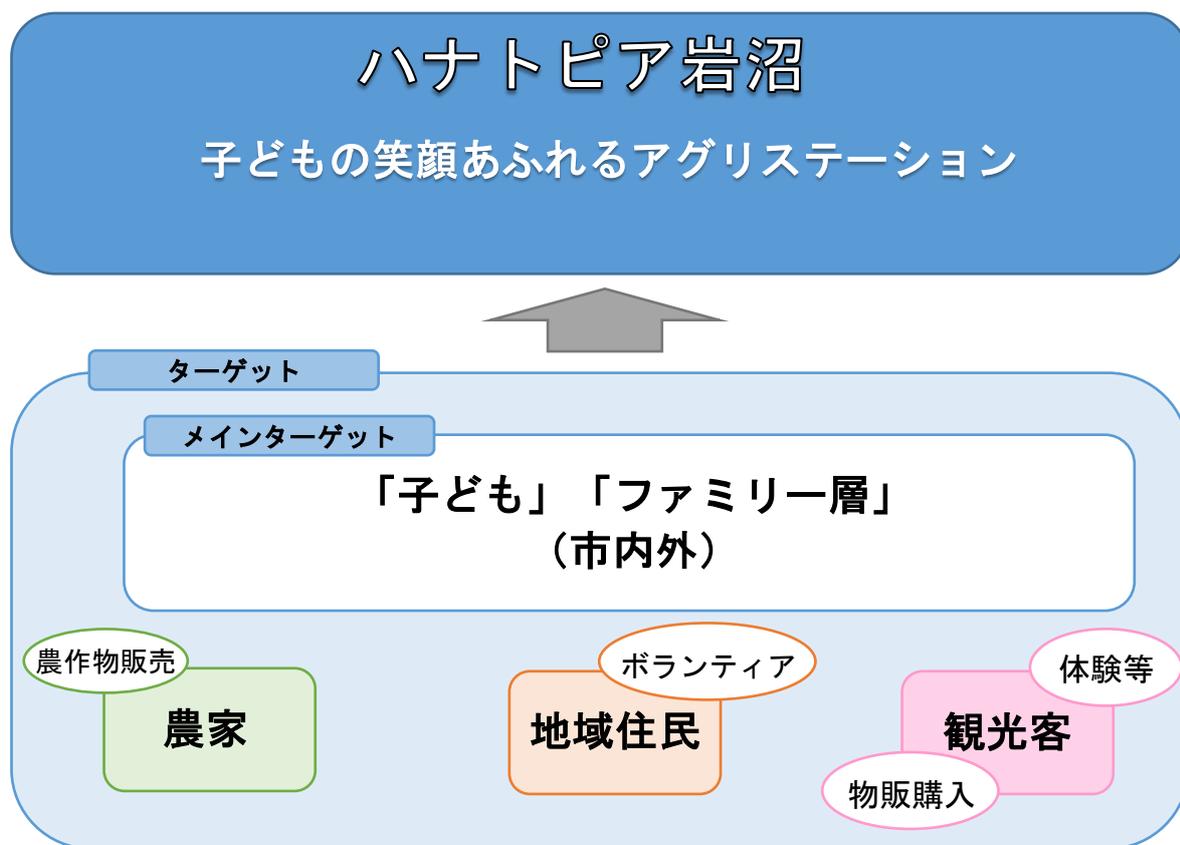
ハナトピア岩沼のメインターゲットは「子ども」と「ファミリー層」とし、市内・市外から人を呼び込みます。

また、「農家」、「地域住民」「観光客」についてもサブターゲットとします。

「農家」については、農産物等の地域産業の創出の場として利用できるようにします。

「地域住民」については、施設づくりや運営をサポートする立場として取組への参加を促します。

「観光客」については、イベントや体験会などへの参加や本市で生産・加工された物販の購入等、本市の魅力・サービスを提供いたします。



[施設の主なターゲット]

第4章 求められる機能と役割の整理

4-1 ゾーンの区分

検討委員会等の結果を踏まえ、ハナトピア岩沼を下記に示すゾーンで構成します。

なお、これらはいくまでもイメージしやすいように具体的な例を示すものであり、必ず整備されるものではありません。

[各ゾーンの区分]

ゾーン名	エリア名	概要
シンボルゾーン	中央広場	シンボルとなる施設の中心的なエリア
アクティブゾーン	わんぱくエリア	子どもが自由にのびのび遊ぶことができるエリア
	アドベンチャーエリア	自然の中で子どもが自分の責任で自由に遊ぶことができるエリア
	サイクリングコース	普段乗ることができないユニークな自転車で遊ぶことができるエリア
遊び・交流ゾーン	いこいエリア	遊びの休憩エリア
	わくわくエリア	BBQ やピクニック等が楽しめるエリア
	屋内遊び場(木育)	天候に左右されることなく室内でのびのび遊ぶことができるエリア
	感覚ひろば	視覚、聴覚、触覚を使った遊具エリア
	どろんこ広場	子どもの創造力を育むことができるエリア
	幼児用コース	幼児の自転車練習ができるエリア
地域にぎわいゾーン	地域食材提供エリア	市内外で収穫された農産物等の販売や調理及びカフェエリア
	加工室	味噌や豆腐などの加工室
	農業エリア	農業体験ができるエリア

4-2 各ゾーンの機能検討

各エリアの想定される機能について以下に整理しました。

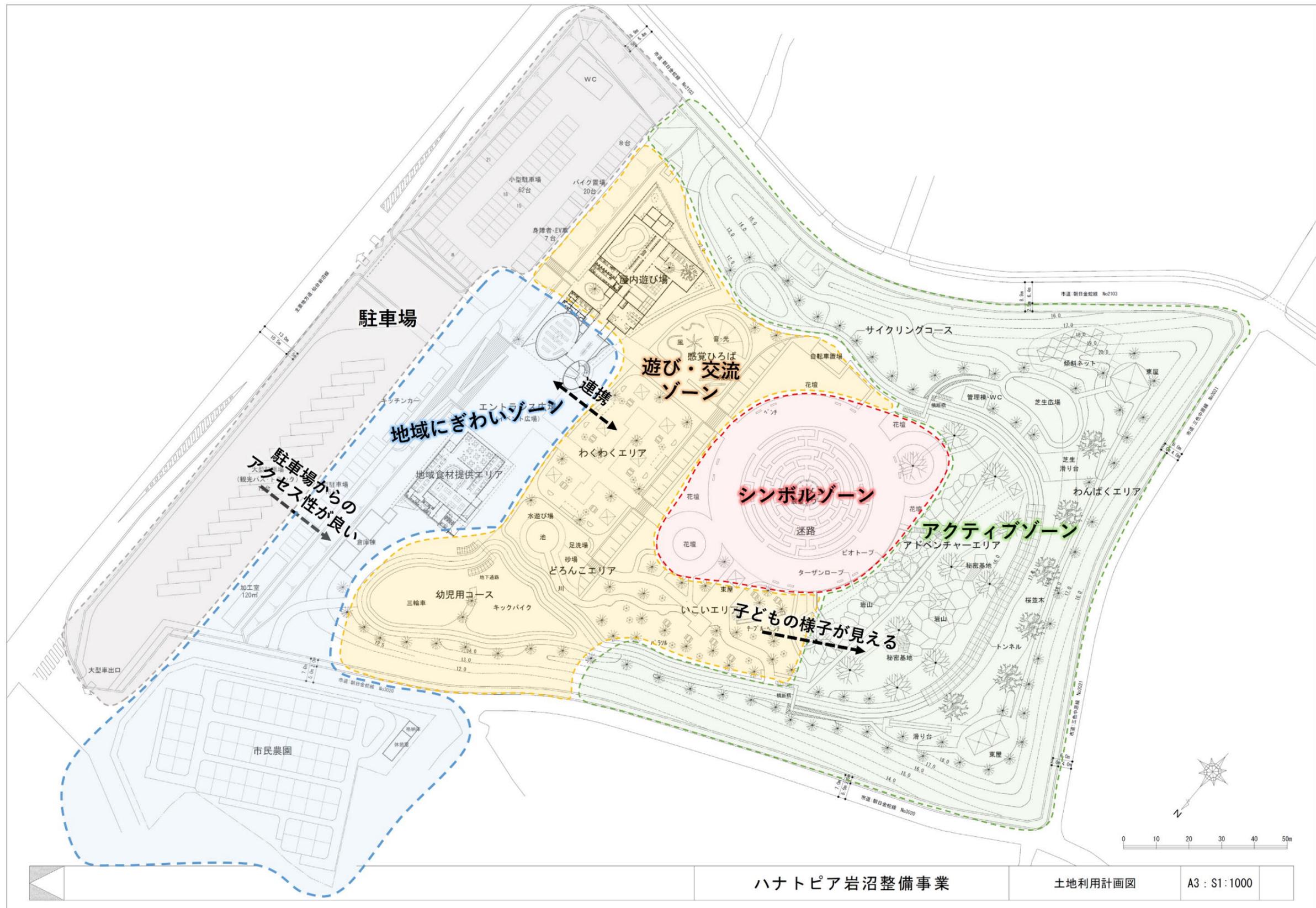
また、調理室、加工室など、地域利用が比較的多くなると想定される機能については、適切にゾーニング配置を行うものとします。

ゾーン名	エリア名	想定される導入機能	
		名称	機能
シンボルゾーン	中央広場	モニュメント	<ul style="list-style-type: none"> 遊具と一体化したモニュメントを設置する。 
		迷路	<ul style="list-style-type: none"> ゴールを目指して、冒険気分を楽しむことができる。 花や緑を使った迷路とし、四季を通して植物の変化を楽しむことができる。 
アクティブゾーン	わんぱくエリア	芝生広場	<ul style="list-style-type: none"> 子どもがのびのびと走り回ったり、ピクニック気分でのんびりとくつろぐことができる。 春には桜の花が満開となり、お花見をすることができる。 また、通年でイルミネーションを開催し園内を彩る。 
		管理棟	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを見守るスタッフの常駐やトイレが設置されている。
	斜面ネット、滑り台	<ul style="list-style-type: none"> 斜面を利用して、色々な遊びや学びを体験できる。 遊具としての滑り台だけでなく、芝生の斜面も滑り台とする。 	
	アドベンチャーエリア	プレイパーク	<ul style="list-style-type: none"> 自然素材（木や石等）を活用して、木登りや木工工作、岩山遊びなどができる。 プレイリーダーを配置し、子どもに遊び方などを教える。  
サイクリングコース	おもしろ自転車	<ul style="list-style-type: none"> 見たことないユニークな自転車をレンタルすることができ、園内一周を楽しむことができる。 	

ゾーン名	エリア名	想定される導入機能	
		名称	機能
遊び・交流ゾーン	いこいエリア	ベンチ、テーブル、パラソル	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩や軽食ができる場所 ・日差し防止のためにパラソルを設置する。 
	わくわくエリア	BBQ、ピクニック	<ul style="list-style-type: none"> ・物販スペースと連携し、食料をその場で調達し、手軽にBBQすることができる。 ・BBQ用のコンロは可動式となっており、BBQ以外ではピクニックをすることができる。 
		ピザ釜	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産物を使用した名物ピザ作りをすることができる。 
屋内遊び場（木育）	子ども遊びスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・広々とした空間で、子どもがのびのびと思いつき身体を動かすことができる。 ・乳幼児が安全・安心に遊べる空間を設置する。 ・木製遊具やおもちゃを設けた木育広場を設置する。 ・子どもに人気のふわふわドームを設置する。 ・壁面を利用し、ボルダリングを設置する。 	
	子ども着替えスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・遊んだ後に着替えることができるスペース ・ベビーコーナーも併設し、おむつ交換や授乳室を設置する。 	
	管理室	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを見守るスタッフが常駐している。 	
感覚ひろば	感覚遊具	<ul style="list-style-type: none"> ・音や光を奏でる遊具、錯覚や触覚を使った遊具があり、遊びながら感覚を育むことができる。 	
どろんこ広場	水遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場に水遊びができる空間を創出する。 	
	砂ひろば	<ul style="list-style-type: none"> ・道具を使ったり、水遊び場から水をくみ上げ、泥山や砂山を作って遊ぶ、子どもの創造力を育むことができるエリア。 	
幼児用コース	足洗い場	<ul style="list-style-type: none"> ・泥遊び後に汚れを落とす場所。 	
	キッズバイク、三輪車	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の基、自転車の練習が行えるとともに、レンタルにより、体験することができる。 	

ゾーン名	エリア名	想定される導入機能	
		名称	機能
地域にぎわいゾーン	地域食材提供エリア	カフェ調理室	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりくつろげるカフェスペースを設置する。 ・カフェの定休日には、厨房を活用し、料理教室を開催する。 
		物販スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外で収穫された農作物や市の名産品等を販売する。
	加工室	加工室	<ul style="list-style-type: none"> ・味噌や豆腐等の加工作業を外から見学することができる。 
	農業エリア	体験農園	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を身近に体験できる。

第5章 基本構想図の作成



ハナトピア岩沼整備事業

土地利用計画図

A3 : S1 : 1000

第6章 実現に向けた取組

基本構想における検討を踏まえ、今後の検討に向けた取組としては次のとおりです。

1. 民間活力の導入について

- ・民間事業者のノウハウや自由な発想を活用することで、多様化する利用者ニーズに対応していくとともに、地域間競争力の確保や行政負担の軽減、時代のニーズへの柔軟な対応をしていきます。
- ・民間事業者の新たな事業機会や投資を喚起し、民間事業者の収益力向上を通じた財政負担の軽減やサービスの質の向上を図ります。

2. 地域ネットワークの強化について

- ・市民が施設づくりの主役として活躍できるように、市民参画を推進するとともに、市民・事業者・行政が協働で施設づくりを目指していきます。
- ・多様化する地域課題や需要に対応するため、「事業者」「NPO」「地域住民」等の参画・連携を促します。

3. 事業スケジュールについて

- ・令和7年度リニューアルオープンを目指し、適切な整備手法選定を行っていき、段階的な整備を進めていきます。

4. 農業環境改善センターの統廃合後の活用について

- ・農村環境改善センターについては、ライフサイクルコスト低減の観点から、機能の一部をハナトピア岩沼に移転し、統廃合を検討しています。統廃合後の施設の利活用については、利用者ニーズを踏まえ、廃止を含め、今後検討を進めます。

第7章 事業手法

7-1 官民連携手法について

(1) PPP とは

「PPP (Public Private Partnership)」とは、行政と民間企業が連携して公共サービスの提供をおこなうことをいいます。行政と民間企業が持つそれぞれの強みを活かすことにより、地域の価値や住民満足度の向上を図ろうとする取組です。

[事業手法の概要]

公共 関与	主な事業手法		概 要	役割分担
大 ↑ ↓ 小	分離 発注	従来方式	設計者、施工者、維持管理業者を各々別々に選定・発注する最も一般的な方式。 設計者は委託契約により、基本設計および実施設計を行い、完成した設計図書を仕様として施工者への発注を行う。	資金調達：市 設計・建設：市 管理運営：市
		指定管理者制度	「公の施設」の管理者として、自治体からの指定を受けた民間事業者が施設の管理を実施。	資金調達：市 設計・建設：市 管理運営：民間
		アドバイザリー的 指定管理方式	指定管理者候補を設計前に先行選定し、アドバイザーとして自治体と協力して設計・建設を行う。	資金調達：市 設計・建設：市 管理運営：民間
	PFI 的 手法	DB Design Build	設計者および施工者を同時に選定・発注し、維持管理業者は別に選定・発注する方式。 設計者および施工者の選定に当たっては、建設工事費を含めた技術提案を求めることになる。	資金調達：市 設計・建設：民間 管理運営：市
		DBO Design Build Operate	設計者、施工者および維持管理業者をすべて同時に選定・発注する方式。 PFI方式と異なり、建設資金の調達は市が行うとともに、契約も各々別々に締結することになる。	資金調達：市 設計・建設：民間 管理運営：民間
小	PFI	BTO Build Transfer Operate	民間事業者による設計・建設後、直ちに市に所有権を移転し、所有権移転後に事業者が維持管理業務を実施する。	資金調達：民間 設計・建設：民間 管理運営：民間
		BOT Build Operate Transfer	民間事業者による設計・建設後、事業期間が終了するまで維持管理を行い、事業終了後、市に施設の所有権を移転する。	

官民連携手法には、特性に応じたメリット・デメリットがあり、地域の実情やニーズに合わせて最適と考えられる事業手法を選択する必要があります。

事業方式		メリット	デメリット
設計・ 施工分離 発注方式	指定管理者 制度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の責任が公共にあることが明確で、住民の信頼を得やすい。 ・分離発注のため、事業の各段階で発注者の意向を反映させやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべて分離発注で行われるため、一体的なコスト削減効果は期待できない。 ・管理運営を行う事業者は、すでに決定した設備の中で事業を行うため、創意工夫が限定的になる。
	アドバイザ リ的指定 管理方式	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の候補者を設計前に選定し、設計や施工段階から運営者の意見を反映することで、効率的・効果的な設計が可能となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者の公募・選定・契約までの手続きや業績監視等に、コストや時間を要する。
設計・施工一括 発注方式 (DB)		<ul style="list-style-type: none"> ・施工者のノウハウを設計・施工に反映させられる等、設計施工一体による建設段階のコスト削減が可能。 ・分離発注と比べ発注手続きに要する期間(回数)が少なく、工期短縮につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計変更柔軟に対応できない等、発注後に公共の意向反映が難しい面がある。 ・設計・施工者の選定に技術提案を求めるため、1回の選定手続きの期間は長くなる。
設計・施工・維持管理 一括発注方式 (DBO)		<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営者の意向を踏まえて施設の建設を行うため、建設コスト、維持管理コストの削減・最適化が可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者の公募・選定・契約までの手続きや業績監視等に係るコストや時間が大きくなる。 ・応募グループの形成能力、提案書作成能力、参加企業の長期安定性等の観点から、市内民間事業者の参画が難しい場合がある。
PFI方式 (BTO・BOT)		<ul style="list-style-type: none"> ・自らが管理運営を行うことを前提に施設の建設を行うため、建設コスト、維持管理コストの削減・最適化が可能である。 ・民間が資金調達を行い、公共が割賦払いでサービス対価を支払うため、財政支出の平準化が可能。 ・プロジェクトファイナンスの場合、金融機関からの業績監視も加わることから、事業の安定性が高まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者の公募・選定・契約までの手続きや業績監視等に係るコストや時間が大きくなる。 ・施設建設に係る自己負担分を民間が調達するため、金利負担や金融組成費用が生じる。 ・資金調達能力、提案書作成能力等から、市内民間事業者の参画が難しい場合がある。 ・事業規模が小さい場合、PFI導入によって得られるコスト削減額以上にPFI導入コストが上回り、導入メリットがない。

資料編

資料 1 市民満足度調査の分析

1-1 施策分野ごとの満足度

令和3年9月に実施した市民満足度調査（回収数623人、回収率41.87%）から施策満足度を見ると、「消防・救急体制の充実」「保健サービスの充実」「保険制度の充実」「母子保健サービスの充実」などで満足度が高く、「交通環境の改善」「男女共同参画社会の推進」「行財政運営の効率化と協働化」「住環境の整備」などで低くなっています。

13の分野単位でみると、「保険・福祉」分野、「子育て」分野で満足度が高い項目が比較的多く、「市民活動」分野、「住環境」分野で満足度が低い項目が多くなっています。

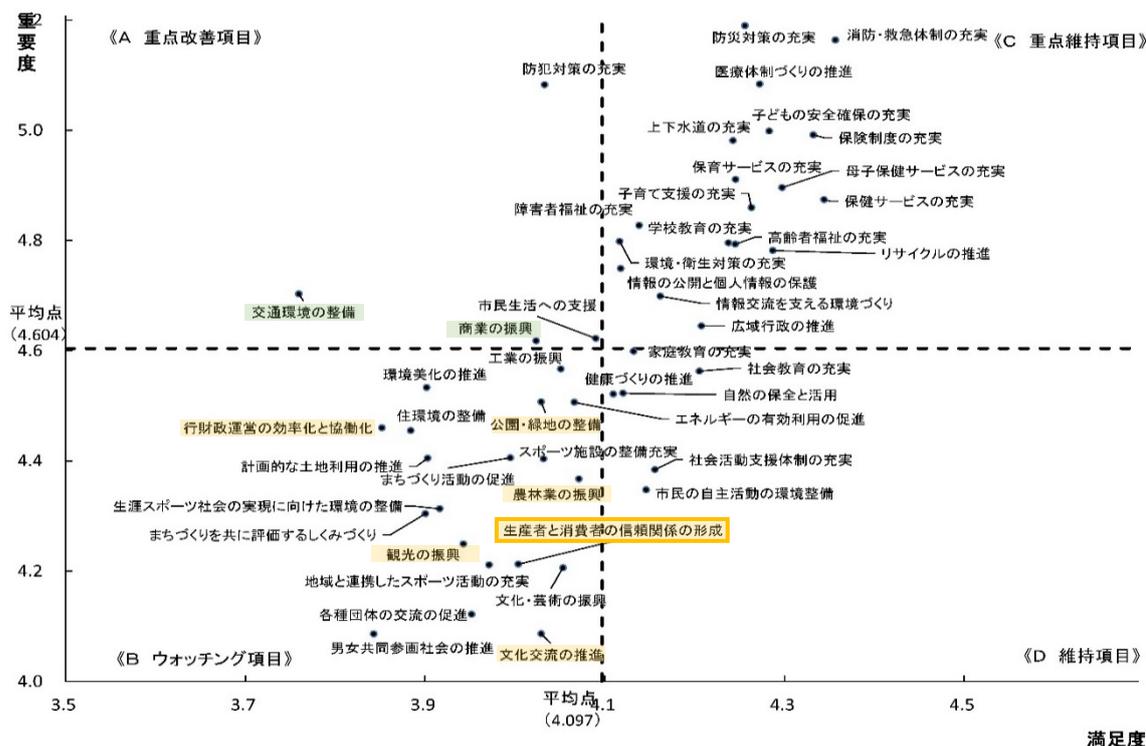
[施策分野ごとの満足度（令和3年度）]

No.	分野	設問項目(施策名称)	満足度	順位
1	情報発信・共有	情報交流を支える環境づくり	4.162	16
2		情報の公開と個人情報の保護	4.118	22
3	市民活動	まちづくり活動の促進	3.995	36
4		各種団体の交流の促進	3.952	38
5		男女共同参画社会の推進	3.843	46
6		まちづくりを共に評価するしくみづくり	3.9	43
7		行財政運営の効率化と協働化	3.852	45
8		広域行政の推進	4.208	14
9	保健・福祉	健康づくりの推進	4.109	24
10		保健サービスの充実	4.344	2
11		高齢者福祉の充実	4.245	10
12		障害者福祉の充実	4.138	19
13		保険制度の充実	4.332	3
14	子育て	医療体制づくりの推進	4.272	7
15		子育て支援の充実	4.263	8
16		保育サービスの充実	4.245	11
17		母子保健サービスの充実	4.297	4
18	生きがいづくり	子どもの安全確保の充実	4.283	6
19		市民の自主活動の環境整備	4.146	18
20		社会活動支援体制の充実	4.156	17
21	教育	市民生活への支援	4.09	25
22		家庭教育の充実	4.132	20
23		学校教育の充実	4.238	13
24	文化・交流	社会教育の充実	4.205	15
25		文化・芸術の振興	4.053	28
26	生涯スポーツ	文化交流の推進	4.029	32
27		生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の整備	3.916	40
28		地域と連携したスポーツ活動の充実	3.971	37
29	安心・安全	スポーツ施設の整備充実	4.032	31
30		防災対策の充実	4.256	9
31		消防・救急体制の充実	4.357	1
32		防犯対策の充実	4.033	30
33		環境・衛生対策の充実	4.117	23
34	住環境	上下水道の充実	4.243	12
35		計画的な土地利用の推進	3.903	41
36		住環境の整備	3.884	44
37		交通環境の整備	3.759	47
38	自然環境・エネルギー	公園・緑地の整備	4.029	33
39		環境美化の推進	3.902	42
40		リサイクルの推進	4.287	5
41		自然の保全と活用	4.12	21
42	農林業	エネルギーの有効利用の促進	4.066	27
43		農林業の振興	4.071	26
44	商工業・観光	生産者と消費者の信頼関係の形成	4.004	35
45		商業の振興	4.024	34
46		工業の振興	4.051	29
47		観光の振興	3.943	39

1-2 施策分野ごとの満足度・重要度

各項目の平均値の散布図（拡大図）をみると、重点改善項目（平均値より満足度が低く、重要度が高い）として、「交通環境の改善」「防犯対策の充実」「商業振興」等が見てとれます。

ウォッチング項目（平均値よりも満足度も重要度も低い）として、「農業の振興」「公園・緑地の整備」「行財政運営の効率化と協働化」「観光の振興」「文化交流の推進」があげられ、ハナトピア岩沼に関連する「生産者と消費者の信頼関係の形成」についてもこちらの項目に当てはまります。



[散布図（拡大図）]

1-3 地区別でみた満足度・重要度

居住地別でみると、ハナトピア岩沼のある西部地区では、施策満足度上位から「消防・救急体制の充実」「保健サービスの充実」「医療体制づくりの推進」、施策満足度下位から「交通環境の整備」「行政運営の効率化と協働化」「環境美化の推進」となっています。

また、西部地区の施策重要度上位から、「防災対策の充実」「消防・救急体制の充実」「防犯対策の充実」、施策重要度下位から「文化交流の推進」「男女共同参画社会の推進」「各種団体の交流の推進」となっています。

[居住地別 満足度・重要度（西部地区）]

	1位	2位	3位	45位	46位	47位
満足度	消防・救急体制の充実	保健サービスの充実	医療体制づくりの推進	環境美化の推進	行政運営の効率化と協働化	交通環境の整備
重要度	防災対策の充実	消防・救急体制の充実	防犯対策の充実	各種団体の交流の推進	男女共同参画社会の推進	文化交流の推進

資料2 利用団体アンケート調査

2-1 調査概要

(1) 調査目的

ハナトピア岩沼が令和4年2月に主要な建物の法定耐用年数を終えたことを契機に、ハナトピア岩沼の新たな利活用（リニューアル）について検討することに伴い、ハナトピア岩沼及び農村環境改善センター利用団体の利用状況や意見等を伺い、利用者のニーズを把握するとともに、効果的かつ効率的な施設運営に役立てることを目的に、「利用団体アンケート調査」を実施しました。

(2) 調査の概要

- ①調査期間 : 令和4年7月8日（金）～令和4年7月22日（金）
②配布回収 : 郵送配布・郵送回収
③対象者 : ハナトピア岩沼及び農村環境改善センターを利用している利用団体
④配布数 : ハナトピア岩沼 21 通、農村環境改善センター88 通、合計 109 通
⑤回収数 : ハナトピア岩沼 14 通、農村環境改善センター72 通、合計 86 通
⑥回収率 : ハナトピア岩沼 66.7%、農村環境改善センター81.8%、合計 78.9%
(8月4日回収分まで有効)

2-2 設問設計

設問項目は以下のとおりである。

問番号	内容		備考
	ハナトピア岩沼	農村環境改善センター	
問1	団体について（団体名、人数、設立年月日）		集計なし
問2	団体の活動目的について		
問3	社会教育関係団体の登録		
問4	施設の利用開始年度		
問5	施設の利用頻度		
問6	施設利用の主な交通手段		
問7	施設利用の主な曜日		
問8	施設でよく使う場所		
問9	施設活動		
問10	施設を選んだ理由		
問11	ほかに利用している施設の有無		
問12	ほかの利用場所		
問13	ハナトピア岩沼の満足度	農村環境改善センターの満足度	
問14	改善・充実すべき点	移設統合した場合の利用意向について	
問15	リニューアルに期待するサービス	利用したくない理由	
問16	団体が抱える課題、今後の展望	代わりに利用したいと思う施設	
問17	ご意見・ご要望	リニューアルに期待するサービス	
問18	団体が抱える課題、今後の展望		
問19	ご意見・ご要望		

【記載方法について】

- ・複数回答の設問については、回答比率の合計は、100%を超える。
- ・各設問を集計した回答数の値（n値）については、「n」という記載方法で表に示している。

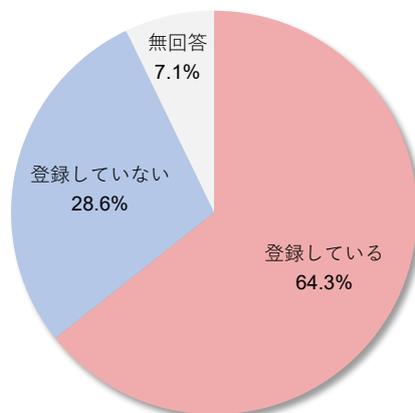
2-3 結果のまとめ

- 施設の利用開始年度について、両施設とも「10年以上前」から利用している団体が最も多くなっています。
- 施設の利用頻度について、ハナトピア岩沼は「月に1回以上」が約6割、農村環境改善センターは「年に1回以上」が5割以上となっています。
- 施設利用の主な交通手段として、両施設とも「自家用車」で利用する団体が最も多い。
- 施設利用の主な曜日として、両施設ともに「平日」が最も多くなっています。
- 施設でよく使う場所については、ハナトピア岩沼は「研究室第1・第2」、農村環境改善センターは「農産物加工研究室」が最も多く利用されています。
- 施設を選んだ理由として、両施設とも「施設が整っていること」が最も多くなっています。
- ほかに利用している施設として、ハナトピア岩沼は3団体、農村環境改善センターは16団体、ほかの施設も利用しています。主に、ハナトピア岩沼は「勤労者活動センター」、「玉浦・岩沼西コミュニティセンター」、農村環境改善センターは、「玉浦・岩沼西コミュニティセンター」、「市民会館・中央会館」、「総合体育館」を利用しています。
- ハナトピア岩沼への満足度は100%、農村環境改善センターは97.2%と、非常に高いです。
- ハナトピア岩沼の改善・充実すべき点として、「農産物直売所の品ぞろえ」、「バリアフリー対応」、「散策路、花壇の充実」があがりました。
- ハナトピア岩沼のリニューアルに期待するサービスとして、「地元の食材等の品物が充実した産直の提供」、「地元の食材を使った軽食を含む料理の提供」が特に期待されています。
- 移設統合した場合の利用意向について、「利用したい」が48.6%、次いで「内容を吟味し利用を検討したい」が41.7%となっています。利用したくないと回答した団体は、「もっと使いやすい施設があるから」や「その他」として「多目的ホールがないから」という意見があがりました。
- 農村環境改善センターの利用団体が代わりに利用したい施設として、「勤労者活動センター」が最も多くなっています。
- 団体が抱える課題、今後の展望として、ハナトピア岩沼は若者の団体への加入、市外の人々が参加しやすいイベントの開催等があげられ、農村環境改善センターは団体会員の高齢化や加工指導員の配置・定期的な研修会の開催、多目的ホールの継続利用があげられています。
- 意見や要望については、ハナトピア岩沼は道の駅のように気軽に立ち寄れる施設となっほしいという意見が、農村環境改善センターは移設統合後の予約の取りにくさへの不安や多目的ホールを利用していきたいという意見が散見されました。

2-4 ハナトピア岩沼

問3：社会教育関係団体の登録

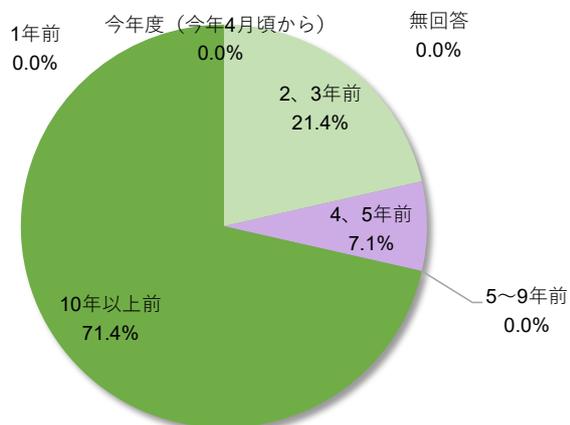
登録している団体が6割を占めています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	登録している	9	64.3%
2	登録していない	4	28.6%
	無回答	1	7.1%
	全体	14	100.0%

問4：施設の利用開始年度

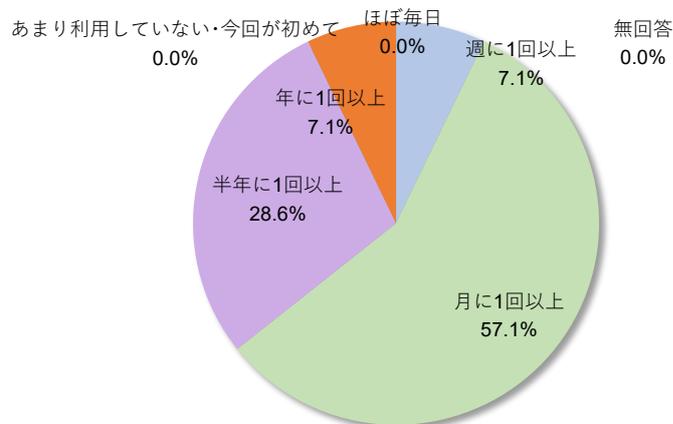
10年以上前から利用している団体が7割を占めています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	今年度（今年4月頃から）	0	0.0%
2	1年前	0	0.0%
3	2、3年前	3	21.4%
4	4、5年前	1	7.1%
5	5～9年前	0	0.0%
6	10年以上前	10	71.4%
	無回答	0	0.0%
	全体	14	100.0%

問5：施設の利用頻度

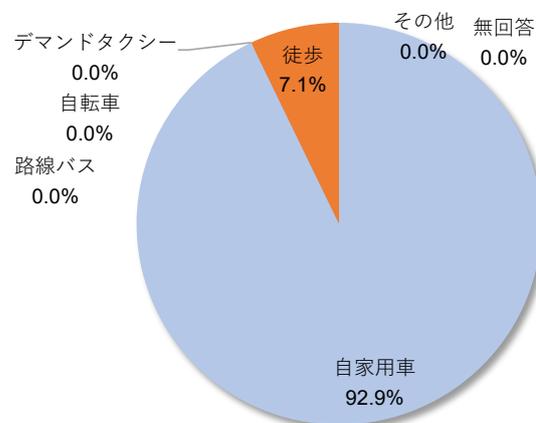
月に1回以上が最も多くなっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	ほぼ毎日	0	0.0%
2	週に1回以上	1	7.1%
3	月に1回以上	8	57.1%
4	半年に1回以上	4	28.6%
5	年に1回以上	1	7.1%
6	あまり利用していない・今回が初めて	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	全体	14	100.0%

問6：施設利用の主な交通手段

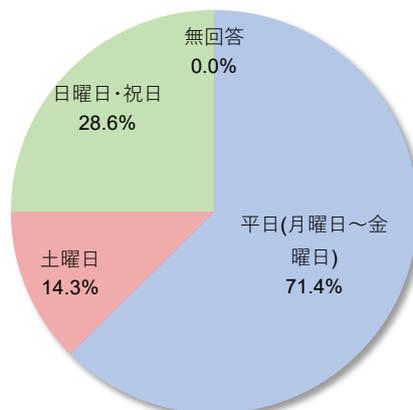
自家用車が最も多くなっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	自家用車	13	92.9%
2	路線バス	0	0.0%
3	デマンドタクシー	0	0.0%
4	自転車	0	0.0%
5	徒歩	1	7.1%
6	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	全体	14	100.0%

問7：施設利用の主な曜日（複数回答）

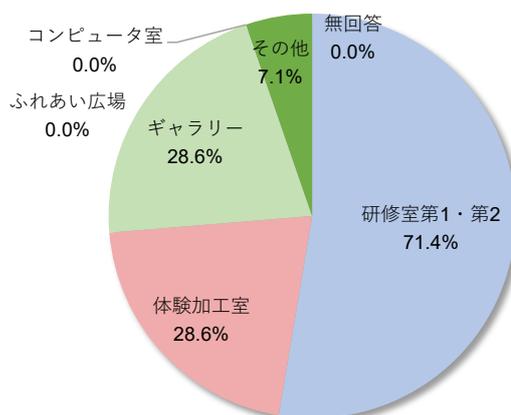
平日の利用者が7割を占めており、休日の利用は4割程度となっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	平日(月曜日～金曜日)	10	71.4%
2	土曜日	2	14.3%
3	日曜日・祝日	4	28.6%
	無回答	0	0.0%
	全体	14	100.0%

問8：施設でよく使う場所（複数回答）

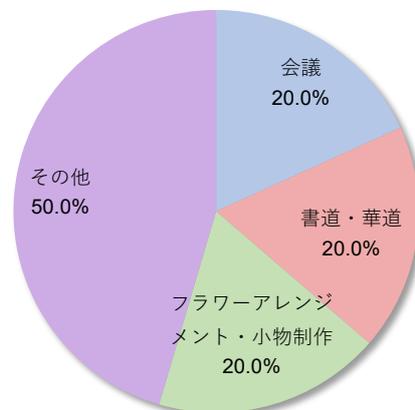
研修室第1・第2が最も多く、次いで体験加工室、ギャラリーとなっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	研修室第1・第2	10	71.4%
2	体験加工室	4	28.6%
3	ギャラリー	4	28.6%
4	コンピュータ室	0	0.0%
5	ふれあい広場	0	0.0%
6	その他	1	7.1%
	無回答	0	0.0%
	全体	14	100.0%

問 9-1 : 【施設活動】 研修第 1・第 2 (複数回答)

「その他」が最も多く、多岐にわたる活動に利用されています。



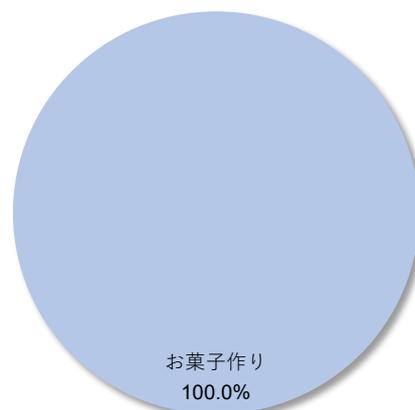
No.	カテゴリー名	n	%
1	会議	2	20.0%
2	書道・華道	2	20.0%
3	フラワーアレンジメント・小物制作	2	20.0%
4	その他	5	50.0%
	全体	10	100.0%

[その他の意見]

その他の活動
練習
体操、太極拳
カフェ
ガーデニング教室

問 9-2 : 【施設活動】 体験加工室 (複数回答)

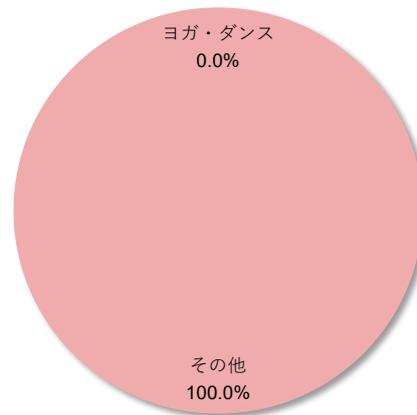
お菓子作りで利用されています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	お菓子作り	4	100.0%
2	餅作り	0	0.0%
3	果汁ジュースなどの瓶詰め	0	0.0%
4	その他	0	0.0%
	全体	4	100.0%

問 9-3 : 【施設活動】 ギャラリー（複数回答）

展示会で利用されています。

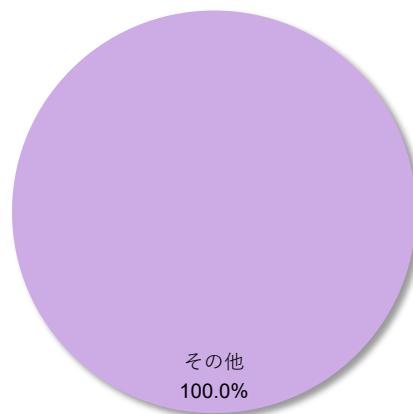


[その他の意見]

その他の活動	
いけばなの展示	
秋の収穫祭展示	

問 9-4 : 【施設活動】 ふれあい広場（複数回答）

花壇植栽の活動で利用されています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	花鑑賞	0	0.0%
2	散歩・ウオーキング	0	0.0%
3	子どもの遊び場	0	0.0%
4	その他	1	100.0%
	全体	1	100.0%

[その他の意見]

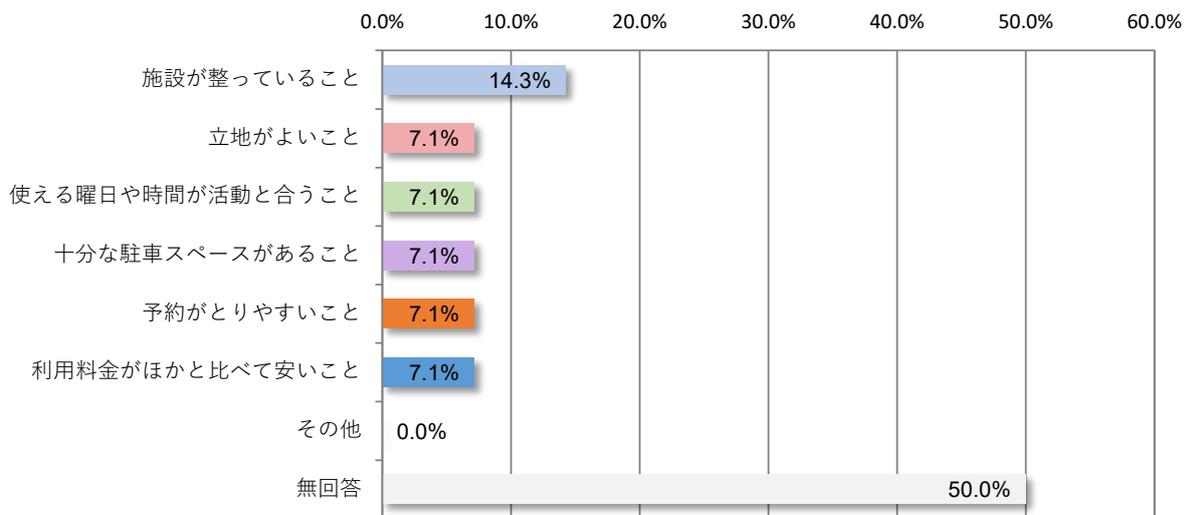
その他の活動	
花壇の植栽	

問 9-5：【研修室第 1・第 2、体験加工室、ギャラリー、ふれあい広場】以外の利用場所・活動場所

利用場所	活動内容
農村環境改善センター	会議、講習会
中央花壇	花壇植栽

問 10：施設を選んだ理由

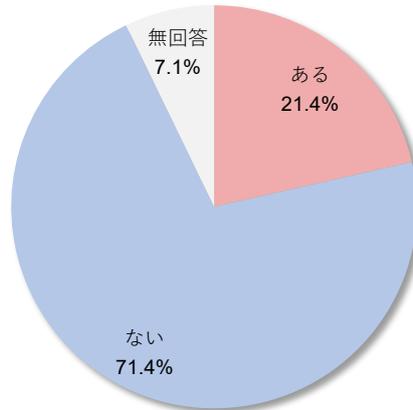
無回答を除くと、「施設が整っていること」が最も多く、他の項目は同数となっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	施設が整っていること	2	14.3%
2	立地がよいこと	1	7.1%
3	使える曜日や時間が活動と合うこと	1	7.1%
4	十分な駐車スペースがあること	1	7.1%
5	予約がとりやすいこと	1	7.1%
6	利用料金がほかと比べて安いこと	1	7.1%
7	その他	0	0.0%
	無回答	7	50.0%
	全体	14	100.0%

問 11：ほかに利用している施設の有無

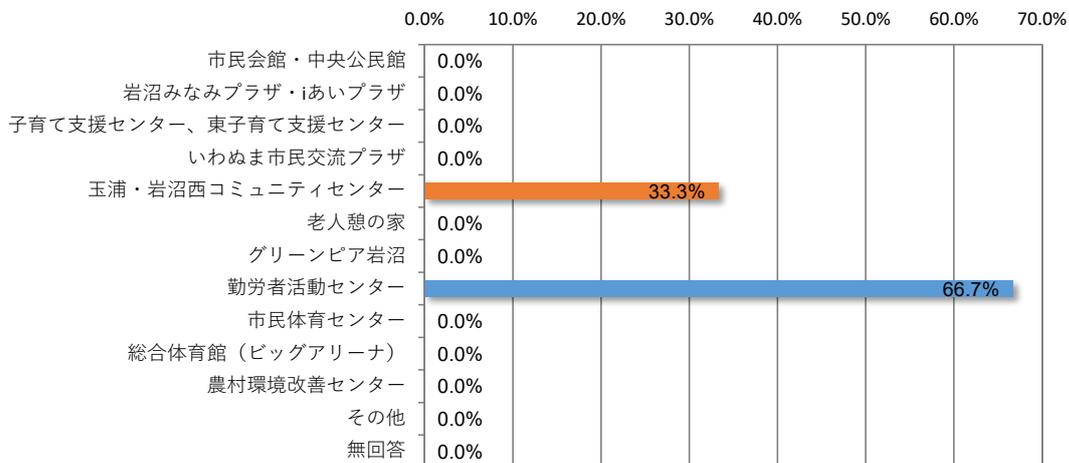
「ない」が7割を占めています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	ある	3	21.4%
2	ない	10	71.4%
	無回答	1	7.1%
	全体	14	100.0%

問 12：ほかの利用場所（複数回答）

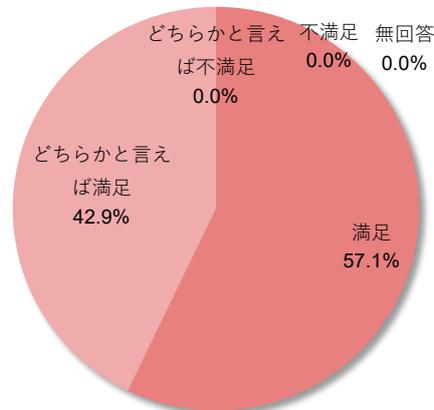
勤労者活動センターが66.7%と最も多く、次いで玉浦・岩沼西コミュニティセンターとなっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	市民会館・中央公民館	0	0.0%
2	岩沼みなみプラザ・iあいプラザ	0	0.0%
3	子育て支援センター、東子育て支援センター	0	0.0%
4	いわぬま市民交流プラザ	0	0.0%
5	玉浦・岩沼西コミュニティセンター	1	33.3%
6	老人憩の家	0	0.0%
7	グリーンピア岩沼	0	0.0%
8	勤労者活動センター	2	66.7%
9	市民体育センター	0	0.0%
10	総合体育館（ビッグアリーナ）	0	0.0%
11	農村環境改善センター	0	0.0%
12	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	全体	3	100.0%

問 13 : ハナトピア岩沼の満足度

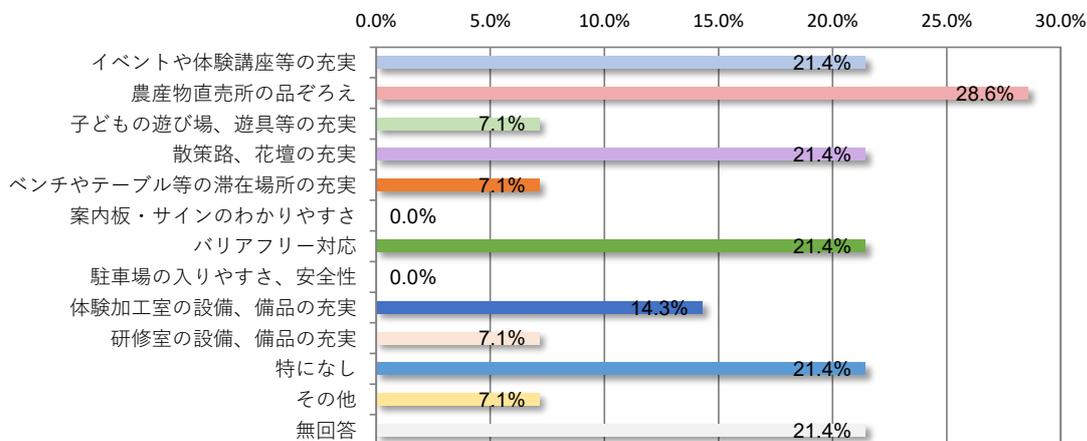
「満足」「どちらかと言えば満足」の合計が 100%となっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	満足	8	57.1%
2	どちらかと言えば満足	6	42.9%
3	どちらかと言えば不満足	0	0.0%
4	不満足	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	全体	14	100.0%

問 14 : 改善・充実すべき点（3つ以内に回答）

「農産物直売所の品ぞろえ」が約 3 割と最も多くなっています。



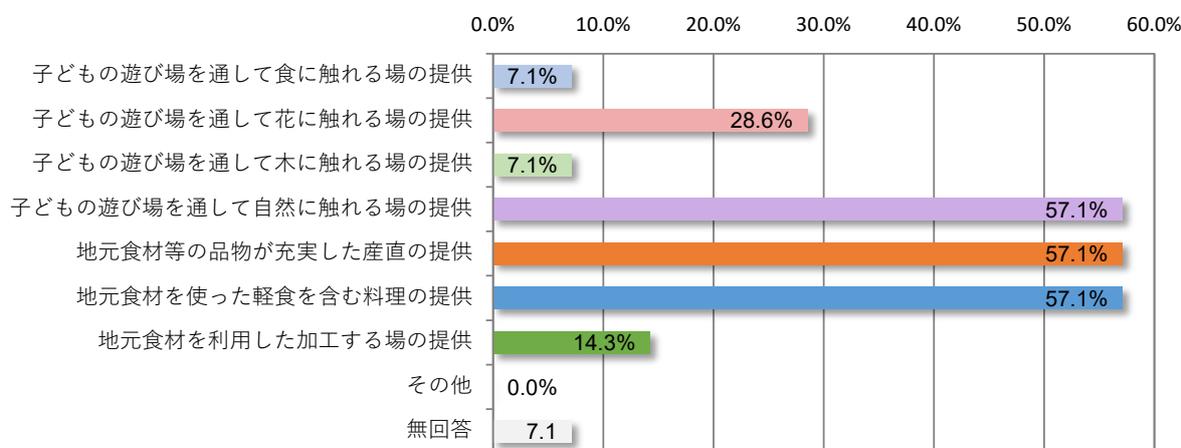
No.	カテゴリー名	n	%
1	イベントや体験講座等の充実	3	21.4%
2	農産物直売所の品ぞろえ	4	28.6%
3	子どもの遊び場、遊具等の充実	1	7.1%
4	散策路、花壇の充実	3	21.4%
5	ベンチやテーブル等の滞在場所の充実	1	7.1%
6	案内板・サインのわかりやすさ	0	0.0%
7	バリアフリー対応	3	21.4%
8	駐車場の入りやすさ、安全性	0	0.0%
9	体験加工室の設備、備品の充実	2	14.3%
10	研修室の設備、備品の充実	1	7.1%
11	特になし	3	21.4%
12	その他	1	7.1%
	無回答	3	21.4%
	全体	14	100.0%

問 14-2 : 【No. 1~12】 について、改善・充実すべき具体的内容

No.	改善・充実すべき内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・花や野菜などの販売（道の駅みたいなかんじ） ・イベント等のPRの充実。 ・誰でもイベントができるようにしてほしい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・直売日の周知、予定日等。 ・人気の直売所なので、広さ、品揃え等拡大。 ・「道の駅」的な産直所を希望。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・沢山の子ども達が安全に楽しく遊べるようにお願いしたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して花や緑がもっと咲いてほしい。 ・ニューヨークのハイラインの様な多様な植物を市民有志で植栽、管理し、植物をメインとした交流、発信の場となれば、市内外からの来園者も増えて、より充実すると思う。 ・子どもが参加して作る体験型花壇などの作成（現在、せんだい農業園芸センターで「花育キッズ」の講座を毎月開講担当しております）。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・受付窓口の前にある自由に使用可のイス、テーブルの増設。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物がある時に、中央だけでなくバリアフリーにしてほしいと感じる。 ・グローバルな使用が可能なようにする為。 ・駐車場からの階段がきついのと、木の部分の傷みが激しい（北側を使うとかなり遠回りになるので、利用しにくいようです）。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンをもっと大きく。以前の物の方が使いやすかった。

問 15：リニューアルに期待するサービス（複数回答）

「子どもの遊びを通して自然に触れる場の提供」、「地元食材等の品物が充実した産直の提供」、「地元の食材を使った軽食を含む料理の提供」が57.1%と最も多くなっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	子どもの遊び場を通して食に触れる場の提供	1	7.1%
2	子どもの遊び場を通して花に触れる場の提供	4	28.6%
3	子どもの遊び場を通して木に触れる場の提供	1	7.1%
4	子どもの遊び場を通して自然に触れる場の提供	8	57.1%
5	地元食材等の品物が充実した産直の提供	8	57.1%
6	地元食材を使った軽食を含む料理の提供	8	57.1%
7	地元食材を利用した加工する場の提供	2	14.3%
8	その他	0	0.0%
	無回答	1	7.1%
	全体	14	100.0%

問 16：団体が抱える課題、今後の展望等について

課題・今後の展望等
若い人の加入が少ない。
研修室使用にあたり、椅子、机の後片付けが大変。年寄りが多いため、元に戻すことが大変！
大きい作品（4m×4m又は8m×2m等）を書きたいと思う時、大きな会場がなかなか見つからないので、ハナトピアの研修室等が私達グループには大変便利で、これからも使用したい。
活動する団体が使用できる棚等有れば（毎回荷物を持たずに楽に活動できるための）。
SDGsに代表される自然との共生、サステイナブル社会の実現の為に、地域や教育において、植物全般との関りはますます重要度を増すと思われます。岩沼市がその分野でアドバンテージを築けるように、ガーデニング教室活動や園内一部に多様な植栽を行い、今後は子ども達や市内各団体でも、上記活動を推進したいと思います。
近隣市町村の方が参加しやすいイベントや講座ができると、もっと沢山のメンバーが増えて嬉しいなと思います。

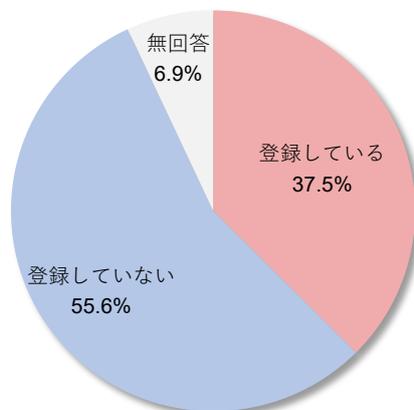
問 17：ご意見・ご要望等について

自由記述
<ul style="list-style-type: none">・道の駅みたいな、地元の人や金蛇神社からの観光客が立ち寄れる花や野菜の販売など。・駐車場が広くて良いので、もっと活用してほしい。休憩カフェなど。
研修室が使えない時はギャラリーを使いますが、料金が高いのは何故ですか？同じにしてほしいです。
子どもの遊び場として、安全・安心を中心に更なる向上を願います。
流し台の高さがあると良い。IHコンロの熱が弱い。
前に農村環境改善センターの体育館の利用を申し込んだところ、墨を使うし運動ではないのでダメと言われた事があり、今度同施設が移転した時に、私達のグループは使用できなくなるのではと不安です。
道の駅のような、気軽に立ち寄れて買い物や食事ができる場所になれば、園内を見に来てくれる方も増えて良いですね！
研修室 1、2 を利用していますが、太極拳は剣を使って練習しますので、改善センターぐらいの広さにしてもらえるとありがたいです。

2-5 農村環境改善センター

問3：社会教育関係団体の登録

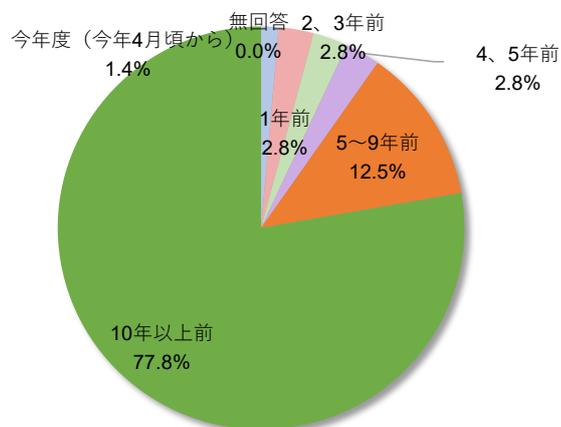
「登録していない」が過半数を占めています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	登録している	27	37.5%
2	登録していない	40	55.6%
	無回答	5	6.9%
	全体	72	100.0%

問4：施設の利用開始年度

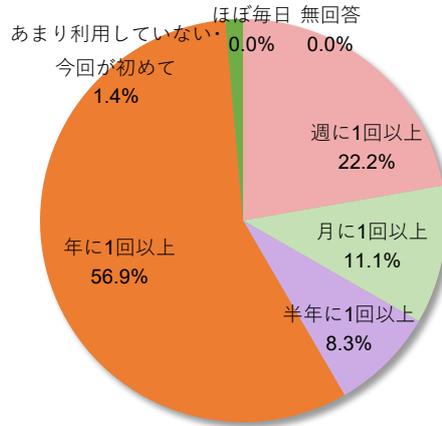
10年以上前から利用している団体が最も多くなっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	今年度 (今年4月頃から)	1	1.4%
2	1年前	2	2.8%
3	2、3年前	2	2.8%
4	4、5年前	2	2.8%
5	5~9年前	9	12.5%
6	10年以上前	56	77.8%
	無回答	0	0.0%
	全体	72	100.0%

問5：施設の利用頻度

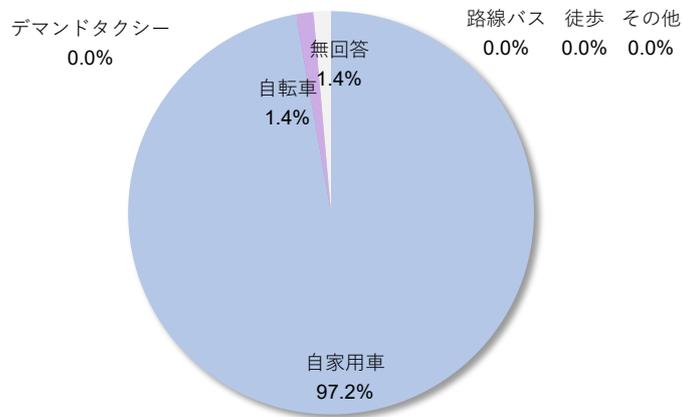
年に1回以上が約6割占めており、次いで週1回以上となっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	ほぼ毎日	0	0.0%
2	週に1回以上	16	22.2%
3	月に1回以上	8	11.1%
4	半年に1回以上	6	8.3%
5	年に1回以上	41	56.9%
6	あまり利用していない・今回が初めて	1	1.4%
	無回答	0	0.0%
	全体	72	100.0%

問6：施設利用の主な交通手段

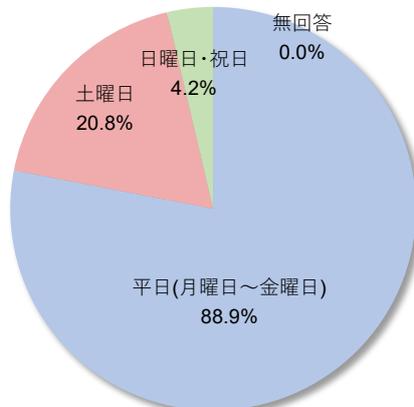
自家用車が9割以上と最も多くなっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	自家用車	70	97.2%
2	路線バス	0	0.0%
3	デマンドタクシー	0	0.0%
4	自転車	1	1.4%
5	徒歩	0	0.0%
6	その他	0	0.0%
	無回答	1	1.4%
	全体	72	100.0%

問7：施設利用の主な曜日（複数回答）

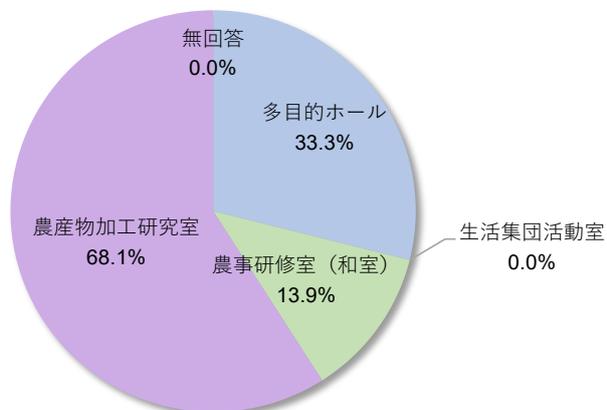
平日に利用している団体が8割以上を占めています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	平日(月曜日～金曜日)	64	88.9%
2	土曜日	15	20.8%
3	日曜日・祝日	3	4.2%
	無回答	0	0.0%
	全体	72	100.0%

問8：施設でよく使う場所（複数回答）

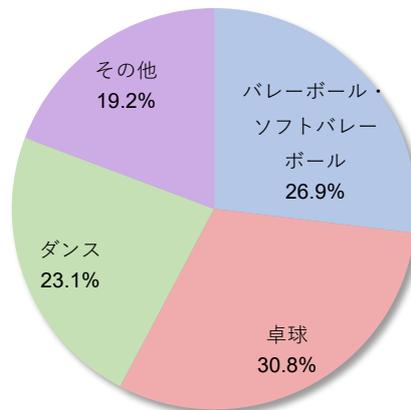
農産物加工研究室が6割以上を占めており、次いで多目的ホールとなっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	多目的ホール	24	33.3%
2	生活集団活動室	0	0.0%
3	農事研修室(和室)	10	13.9%
4	農産物加工研究室	49	68.1%
	無回答	0	0.0%
	全体	72	100.0%

問 9-1 : 【施設活動】 多目的ホール（複数回答）

卓球が3割と最も多く、次いでバレーボール・ソフトバレーボール、ダンスとなっています。



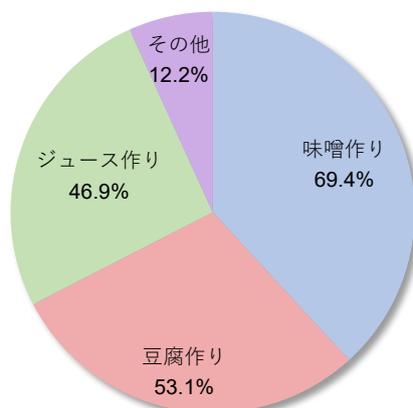
No.	カテゴリー名	n	%
1	バレーボール・ソフトバレーボール	7	26.9%
2	卓球	8	30.8%
3	ダンス	6	23.1%
4	その他	5	19.2%
	全体	26	100.0%

[その他の意見]

その他の利用場所
空手
居合道
合気道
サッカー、フットサル
太極拳

問 9-2 : 【施設活動】 農産物加工研究室（複数回答）

味噌作りが約7割を占めており、次いで豆腐作り、ジュース作りとなっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	味噌作り	34	69.4%
2	豆腐作り	26	53.1%
3	ジュース作り	23	46.9%
4	その他	6	12.2%
	全体	49	100.0%

[その他の意見]

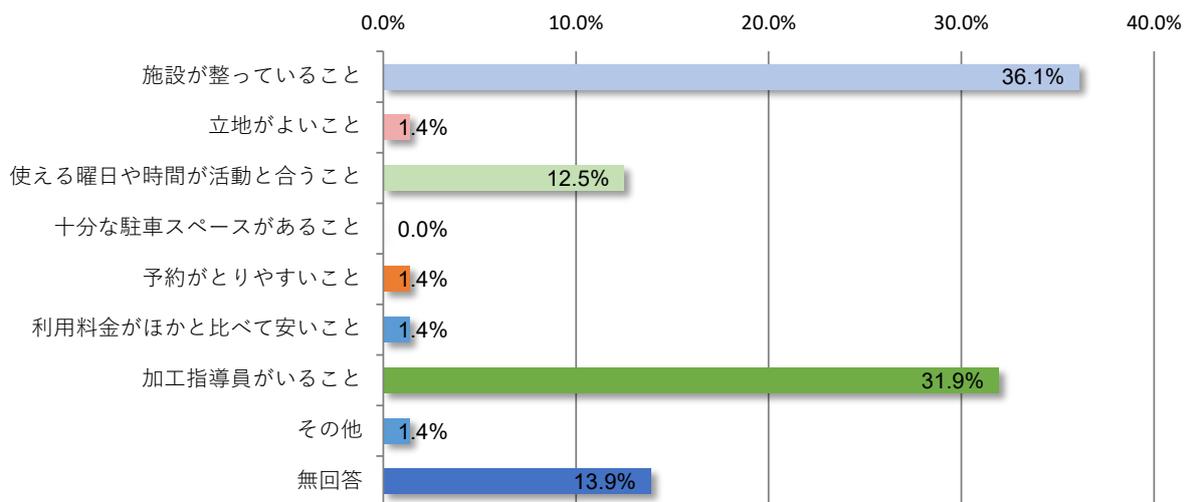
その他の利用場所
ジャム等
トマトケチャップづくり (2件)
焼肉のタレ

問 9-3 : 【多目的ホール、農産物加工研究室】以外の利用場所・活動場所

利用場所	活動内容
広場	サッカー、フットサル

問 10 : 施設を選んだ理由

「施設が整っていること」が36.1%と最も多く、次いで「加工指導員がいること」、「使える曜日や時間が活動と合うこと」となっています。



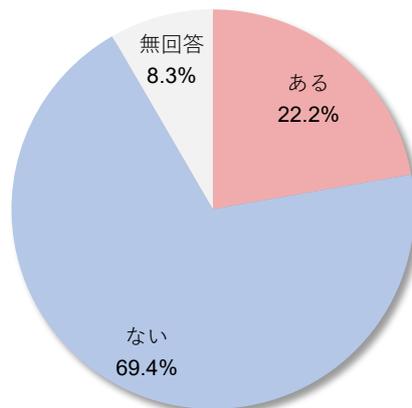
No.	カテゴリー名	n	%
1	施設が整っていること	26	36.1%
2	立地がよいこと	1	1.4%
3	使える曜日や時間が活動と合うこと	9	12.5%
4	十分な駐車スペースがあること	0	0.0%
5	予約がとりやすいこと	1	1.4%
6	利用料金がほかと比べて安いこと	1	1.4%
7	加工指導員がいること	23	31.9%
8	その他	1	1.4%
	無回答	10	13.9%
	全体	72	100.0%

[その他の意見]

その他の理由
友人

問 11：ほかに利用している施設の有無

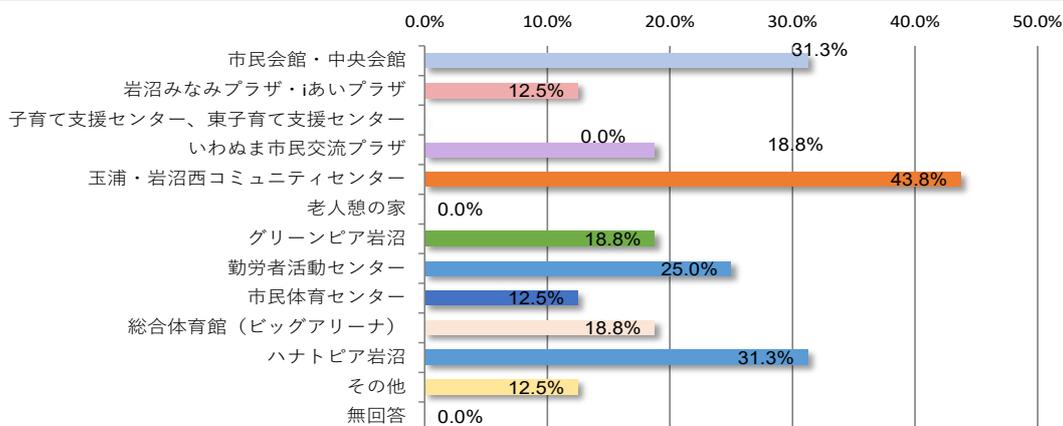
「ない」が約7割を占めています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	ある	16	22.2%
2	ない	50	69.4%
	無回答	6	8.3%
	全体	72	100.0%

問 12：ほかの利用場所（複数回答）

「玉浦・岩沼西コミュニティセンター」が43.8%と最も多く、次いで「市民会館・中央会館」、
「ハナトピア岩沼」となっています。



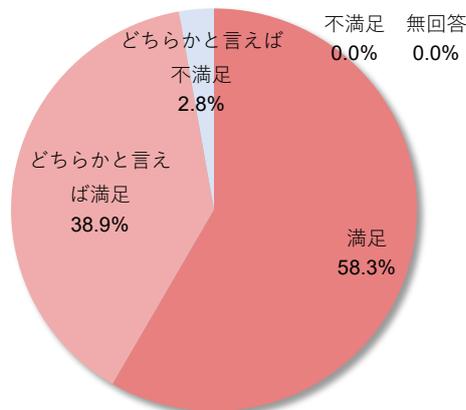
No.	カテゴリー名	n	%
1	市民会館・中央会館	5	31.3%
2	岩沼みなみプラザ・iあいプラザ	2	12.5%
3	子育て支援センター、東子育て支援センター	0	0.0%
4	いわぬま市民交流プラザ	3	18.8%
5	玉浦・岩沼西コミュニティセンター	7	43.8%
6	老人憩の家	0	0.0%
7	グリーンピア岩沼	3	18.8%
8	勤労者活動センター	4	25.0%
9	市民体育センター	2	12.5%
10	総合体育館（ビッグアリーナ）	3	18.8%
11	ハナトピア岩沼	5	31.3%
12	その他	2	12.5%
	無回答	0	0.0%
	全体	16	100.0%

【その他の意見】

その他の利用場所
岩沼西公民館
岩沼西児童センター

問 13：農村環境改善センターの満足度

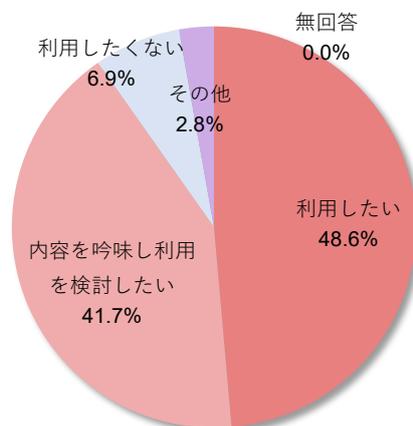
「満足」「どちらかと言えば満足」の合計が 97.2%となっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	満足	42	58.3%
2	どちらかと言えば満足	28	38.9%
3	どちらかと言えば不満足	2	2.8%
4	不満足	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	全体	72	100.0%

問 14：移設統合した場合の利用意向について

「利用したい」が約 5 割を占めており、次いで「内容を吟味し利用を検討したい」となっています。



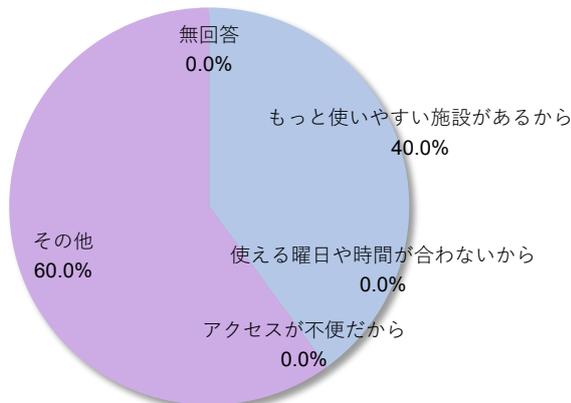
No.	カテゴリー名	n	%
1	利用したい	35	48.6%
2	内容を吟味し利用を検討したい	30	41.7%
3	利用したくない	5	6.9%
4	その他	2	2.8%
	無回答	0	0.0%
	全体	72	100.0%

[その他の意見]

その他の利用意向
屋内運動場がないので利用できない

問 15：利用したくない理由

「その他」が6割を占めており、理由としてハナトピア岩沼には多目的ホールがないためです。



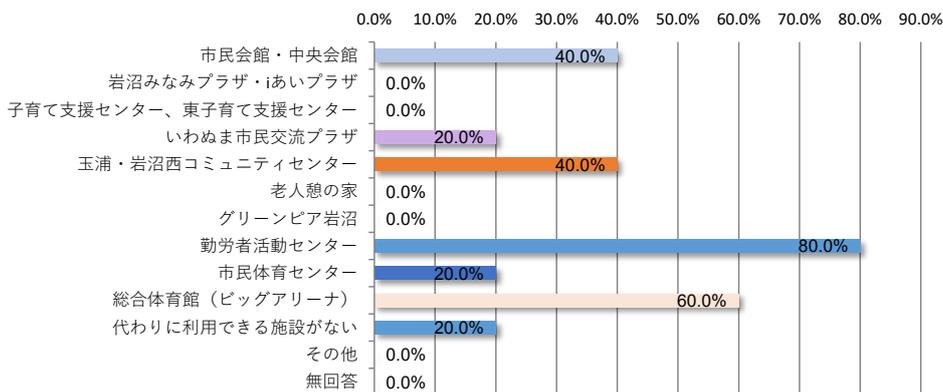
No.	カテゴリー名	n	%
1	もっと使いやすい施設があるから	2	40.0%
2	アクセスが不便だから	0	0.0%
3	使える曜日や時間が合わないから	0	0.0%
4	その他	3	60.0%
	無回答	0	0.0%
	全体	5	100.0%

[その他の意見]

その他の理由
体育館が無いから。
この場所以外には考えられない。
多目的ホールと同じ広さが欲しい。

問 16：代わりに利用したいと思う施設について（複数回答）

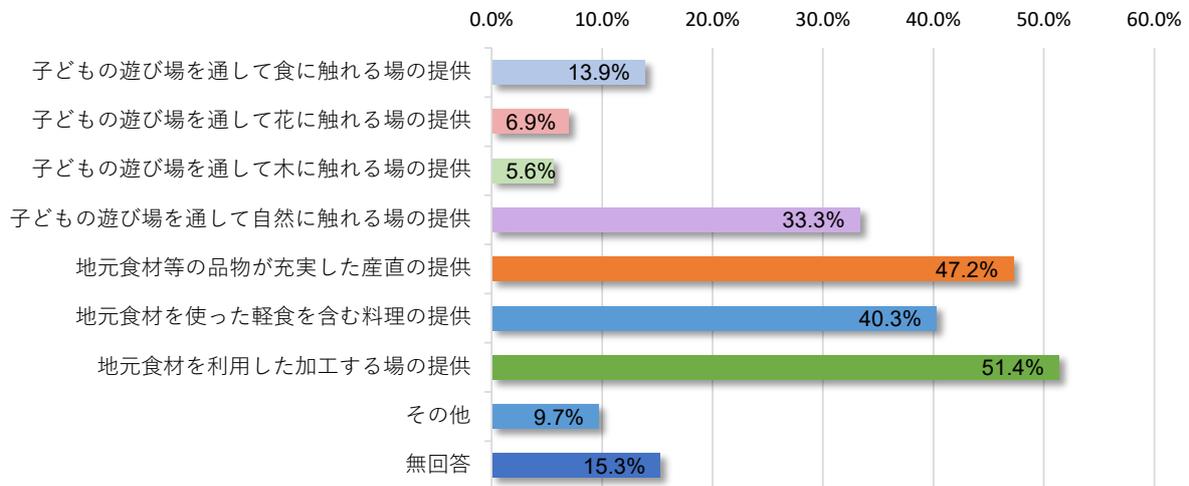
勤労者活動センターが8割と最も多く、次いで総合体育館が6割となっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	市民会館・中央会館	2	40.0%
2	岩沼みなみプラザ・iあいプラザ	0	0.0%
3	子育て支援センター、東子育て支援センター	0	0.0%
4	いわぬま市民交流プラザ	1	20.0%
5	玉浦・岩沼西コミュニティセンター	2	40.0%
6	老人憩の家	0	0.0%
7	グリーンピア岩沼	0	0.0%
8	勤労者活動センター	4	80.0%
9	市民体育センター	1	20.0%
10	総合体育館 (ビッグアリーナ)	3	60.0%
11	代わりに利用できる施設がない	1	20.0%
12	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
	全体	5	100.0%

問 17：リニューアルに期待するサービス（複数回答）

「地元食材を利用した加工する場の提供」が約5割と最も多く、次いで「地元食材等の品物が充実した産直の提供」となっています。



No.	カテゴリー名	n	%
1	子どもの遊び場を通して食に触れる場の提供	10	13.9%
2	子どもの遊び場を通して花に触れる場の提供	5	6.9%
3	子どもの遊び場を通して木に触れる場の提供	4	5.6%
4	子どもの遊び場を通して自然に触れる場の提供	24	33.3%
5	地元食材等の品物が充実した産直の提供	34	47.2%
6	地元食材を使った軽食を含む料理の提供	29	40.3%
7	地元食材を利用した加工する場の提供	37	51.4%
8	その他	7	9.7%
	無回答	11	15.3%
	全体	72	100.0%

【その他の意見】

その他の期待するサービス
屋内で運動ができる施設
多目的ホール（軽運動場）
パークゴルフ
多目的ホール（スポーツ）の整備
大人のセラピーの場
こども食堂
バザー（手作り品、食品）

問 18：団体が抱える課題、今後の展望等について

課題・今後の展望など
会員の年齢が 20 代～70 代までと平日活動がなかなか出来ず、現在、日曜日に活動をしています。他の施設は一般開放や大会等で使用が難しく、活動が制限される心配があります。
高齢化が進み新旧入れ替えも見込めないので、5 年から 10 年で解散になると思う。
・西部地区にパークゴルフ設備など作っても良いと思う（体育のできるどころ?）。 ・グランドゴルフ場を作ってもらいたい。
お年寄りの会員は、施設を使用して楽に健康維持に努めています。
体力が続く限り楽しみたいと思っております。
コロナ禍による会員数の減員。
・私達の活動人数は 21 名なので、改善センターホールは卓球台を 5 台並べられ、20 人がダブルスのゲームに取り組むことが可能で本当に最高です。職員の方々も丁寧に対応して下さい、いつも感謝しています。 ・当団体はこれからも卓球を通して体力の維持増進を図り、生涯現役、病気になり難い体づくりに役立ちたいと願っております。ついては、ハナトピアに移設統合したあとも分館として、多目的ホールと加工室は活用してほしいです。
会員の高齢化により会員数が減少してきています。健康維持のため、できるだけ長く続けたいと思っております。改善センターはとても使いやすく、長く利用出来たら良いなと思っております。
活動日が決まっていますが、参加人数が少なくて活動が出来ない日もあるので、思案中です。少子高齢化になって会員数が少なくなっていますが、居合道で学ぶ武士道精神や礼儀作法など、後世に残していきたいと努力してまいります。
震災で今迄使わせていただいていた体育館が駄目になり、やっと場所を見つけて楽しく練習をしています。統合するとまた場所が無くなるということでしょうか？
ハナトピアには、サッカーができる広場がないので、他に活動できる場を確保しなければならぬ。
会員が 70 歳以上になり、味噌作りなど、いつまでできるかが話題です。
団体人数員が高齢化。
りんごジュースを作る人が老人になってきているので、年々動きが遅くなってきて、時間がかかる。いつまで作れるか心配。
高齢化していて会員の減少傾向。
農産物加工研究室を使用させていただいているので、大変使いやすく慣れているので満足しています。加工指導員の研修会もやってほしいです。
高齢化、いつまで続けられるか。
今後も安全で美味しい味噌作りを続けたいと思いますので、ご指導よろしく申し上げます。
高齢になってきて、重い物を運ぶのが大変になってきた。
味噌作りを続けるにあたり、安全で衛生に配慮した設備と段差のないようにしていただきたい。例えば、出来上がった味噌を運び出す時など、車が近くまで入れると助かります。
メンバー内での高齢化が進み、最低人数が揃うのに苦労している。
コロナ禍で集まったの活動が困難（現在休止中）。
会員全員が女性で高齢でもあるので、重い荷物等の移動が心配です（ハナトピアは階段が多い）。
・高齢化問題もあるので、何時まで続けられるか、毎年話題に出ます。 ・移動となれば場所（広さ）もある程度確保できるのでしょうか。
年齢が高くなってきているので、集り難くなってきた。
メンバーの高齢化。
皆でチームワークをもって、皆で楽しく。
年 1 回の味噌作りですが、安全な食、家族の健康、仲間との交流等を心掛けてきました。今後も目的にそって、続けていきたいと思っております。何よりも作った味噌は美味しいです。
メンバーの高齢化にともない、いつまでできるか。
手作り食品の良さを広めたい。大きな機器を使用するので、指導員の方の配置は続けてほしい。
指導員が替わると変わる事。全員教え方を統一してほしい。
味噌作りをメインに豆腐作りを行っている。グループとして高齢化が進んでおり、人数調整等困難になってきている。
働いている保護者の方が多いため、人数の確保が難しくなっている。

問 19：ご意見・ご要望等について

自由記述
岩沼市農村環境改善センターは使用料も安く、生涯スポーツの活動をしていくうえで大変重要な場所です。多目的ホールの広さもちょうど良く、お世話をしてくれる職員の皆様も親切で、とてもよくしていただき感謝しています。今後もこの素晴らしい場所で活動していきたいと願っております。
今年3月まで登録して、月2回使用してきましたが、会員の人達から西コミュニティセンターに場所を変更したらどうかという声が多数ありました。検討した結果、西コミュニティセンターになり、4月から使用しています。 使用料が券売機で精算でき、会計さんはすごく楽になりました。靴箱もなくスムーズです。交通（道路事情）の便が良い、以上の様なことで西コミュニティセンターに変更になりました。長い間お世話になりました。
他のサークルも結構、若い会員の入会が見込めず、現会員で維持ができる内の活動で、終了の可能性があるのでのでは？その為、あと数年はこのまま利用したい。
社交ダンスのレッスンを可能なスペースを工夫してもらいたい。
私達に必要な広さがある改善センターのホールが、最も理想的です。使わせていただく限り利用し、使えなくなる時点で検討したと思います。
平成17年に二木の公民館が使えなくなると言われ、曜日、時間を変更して改善センターを使うようになりました。床が木で足にやさしく広さも適当で、いつまでも利用したい（できるだけ長く）と思っています。
改善センターのことで、多目的ホールの使用時に日光が眩しい時があり、練習がやりづらいので、カーテンを付けてほしいです。夏場ものすごく暑いので、冷房設備が必要かなと思います。
利用料金を安くしてください。
今現在の扇風機より大きいのがほしいです。よろしくお願い致します。
統合しても、今迄通り使うことができるという保障をしていただけるのですか。他の体育館は一杯で、入る余地がありません。
いつも広場の草刈りをしていただきありがとうございます。快適に利用させていただいております。
味噌作りの際などに指導員の方がもう一人参加していただければ、ある程度高齢のグループでも、参加しやすくなると思います。味噌作りの三日目に（希望者は別料金で）。
りんごを絞る機械を交換した時から、絞った汁が漏れていて、りんごジュースの本数が減った気がする。交換の時の説明会にも汁が機械の下から漏れていると指摘したけど、そのままのような気がする。
皆が利用できる場所になってほしい。和室も終わってから（ちょっと休みたい）横になりたい。
野菜づくりを少しして感じたのですが、どの畑でも食べられるけど、捨ててしまう野菜があるものです。一件の量はわずかでも、市全体で考えれば結構な量になると思います。そのような食材を使って、スープとかを作って子ども達に提供する場が作れないものかと思っています。
指導員の研修会を年に数回した方がいいと思います。
申込方法をよい方法に考えてみてほしいです。
できれば味噌作りの機能する場所として、本館前、駐車場南側（昔花とか扱った所、ハナトピア物販室）の場所に作ってほしいです。
ハナトピアに軽く食べられる（ソフトクリーム、ジュース、コーヒー等）店があればいいなあとと思います。
岩沼市にキャンプ場がほしい！
<ul style="list-style-type: none"> ・味噌作りに必要な器材があれば、また指導者がいなければ活動ができないので、その事を考えてほしい。 ・音楽をかけてのダンス等の活動はできないと言われたことがある。その辺も検討してください。

自由記述
コロナ禍で落ち着かない日々ですが、出来る限り継続できれば幸いです。
どちらの場所でも加工指導員がいてほしい。
指導員の方々から、作業手順の前に食品学、理論等教えてほしい。
ハナトピア利用も考えましたが、料金や広さ等で遠慮しました。今度から利用する時は、設備をよくしてください。
いつも加工指導員の方にご指導いただきこそ、スムーズに進めることができいております。今後とも、ご指導よろしくお願ひしたいと存じます。
活動の内容や良さを知っている人が少ないように思う。内容をアピールし、沢山の方が利用して作ってみたいと思うようになればいいと思います。
加工場はいままでと同じように、床が水を流せるようであれば助かると思います。よろしくお願ひします。
ここで作った味噌は美味しいです。いつまで作れるか分からないですが、いつも楽しみです。人数制限はしてほしくないです、時間内に終わればいいと思います。【例】時間で支払っているのに、5人で味噌4、5升とか作りたくても作れない。
農村環境改善センターの機能を移設統合するのをなるべく延ばしてほしいです。
他の市町村にはない設備があり、昔ながらの味噌作りや豆腐作りに挑戦出来て楽しいし、畑にかぼちゃ等を育てて収穫し、料理を作り食べることの大切さ等を学ぶことができるので、両施設共、継続できると良いと思う。
ハナトピア岩沼に移設統合することに反対はないが、統合したことで予約が取りにくくなったり、利用しづらくなる（手続きが多くなる）ことは、避けてほしいと思う。
出来上がった味噌は非常に重く、シニアには階段がとても厳しいです。車のところまで運びやすい工夫を是非お願ひします。

資料3 子育て世代アンケート調査

3-1 調査概要

(1) 調査目的

ハナトピア岩沼の新たな利活用（リニューアル）に当たっては、「子どもたちの笑顔あふれる施設」を検討しており、検討の参考とするため、3～5歳のお子さんのいる保護者の方から子どもの遊ばせ方や育むための方向性やリニューアルに当たってハナトピア岩沼に必要な遊具やスペース等に関する意見等を伺い、子育て世代のニーズを把握することを目的に、Web アンケート調査を実施しました。

(2) 調査の概要

- ①調査期間 : 令和4年9月12日（月）～令和4年9月25日（日）
- ②配布回収 : 幼稚園・保育園を通じた直接配布
Webによる回収
- ③対象者 : 市域にお住いの3～5歳のお子さんのいる保護者の方
- ④配布数 : 982通（令和4年度9月1日時点の児童数）
- ⑤回収数 : 183通
- ⑥回収率 : 18.6%

3-2 設問設計

設問項目は以下のとおりです。

問番号	質問内容
(1) 属性について	
問1	お子さんの人数（年齢に関係なく）について
問2	お子さんの年齢について
問3	このアンケートの回答者について
問4	居住地区について
問5	保護者の就労状況について
問6	ハナトピア岩沼の利用について
(2) ハナトピア岩沼の利活用について	
問7	子どもの遊ばせ方や育むための方向性について
問8	ハナトピア岩沼にあると嬉しい屋内遊び場の遊具について
問9	ハナトピア岩沼にあると嬉しい屋外遊び場の遊具について
問10	ハナトピア岩沼に必要な場所やスペースについて
問11	ハナトピア岩沼に必要な施設やサービスについて
問12	ハナトピア岩沼に必要なイベントや学習体験について
問13	自由意見

【記載方法について】

- ・複数回答の設問については、回答比率の合計は、100%を超える。
- ・各設問を集計した回答数の値（n値）については、「n」という記載方法で表に示している。

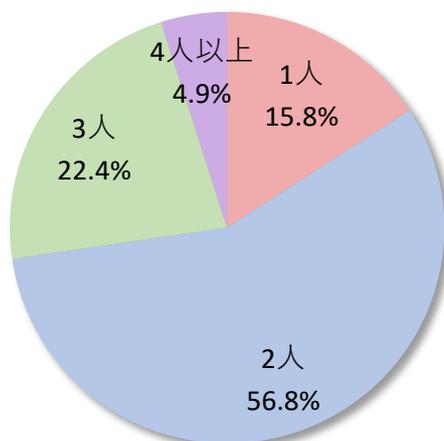
3-3 結果のまとめ

- 子どもの遊び方や育み方について「冒険心を育むことができる」が78.8%と最も多く、次いで「子どもが自由にのびのび遊ぶことができる」が65.0%となっています。
- ハナトピア岩沼にあると嬉しい屋内遊び場として、「アスレチック遊具」「トランポリン」が約6割と最も多くなっています。
- ハナトピア岩沼にあると嬉しい屋外遊び場として、「水の遊び場」が74.9%と最も多く、次いで「アスレチック遊具」が68.3%となっています。
- “子どもを見守りながら過ごせる”場所・スペースとして、「飲食スペース」が88.5%と最も多く、次いで「休憩スペース」が82.0%となっています。
- 保護者にとって、ハナトピア岩沼にあると嬉しい施設・サービスとして、「カフェ」が約6割を占めています
- ハナトピア岩沼にあると嬉しいイベントや体験として、「お祭り」「動物との触れ合い体験」が全体の約6割を占めている。次いで、「親子参加型の農業体験」が約4割を占めています。
- 自由意見として、「天候に関係なく遊ぶことができる施設にしてほしい」や「小学生くらいまで使える施設にしてほしい」、「遊びエリアは年齢ごとに分けてほしい」、「こじゅろうキッズランドのような施設にしてほしい」などの意見があがりました。

3-4 属性について

問1：お子さんの人数（年齢に関係なく）

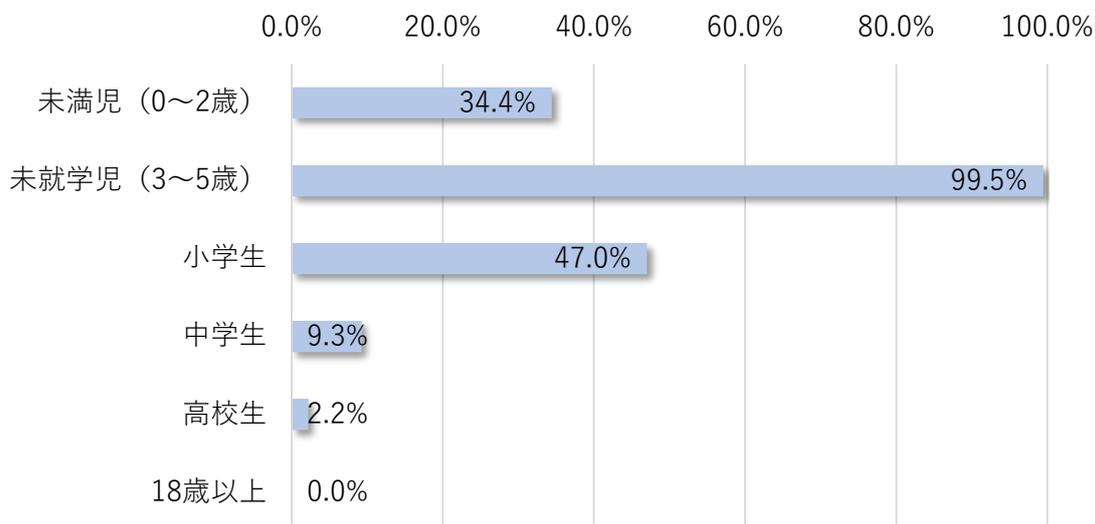
「2人」のお子さんを持つ家庭の回答が最も多くなっています。



カテゴリー名	n	%
1人	29	15.8%
2人	104	56.8%
3人	41	22.4%
4人以上	9	4.9%
全体	183	100.0%

問2：お子さんの年齢（令和4年4月1日時点）

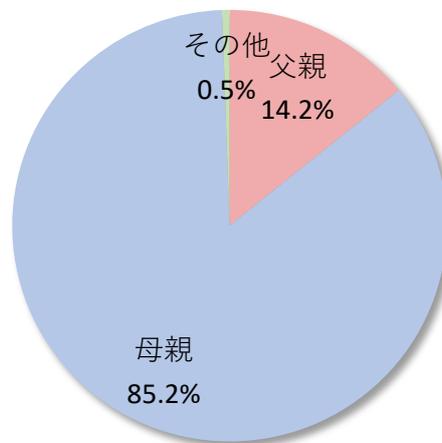
「小学生」のお子さんもいる家庭が47.0%、
「未満児」のお子さんもいる家庭が34.4%となっています。



カテゴリー名	n	%
未満児 (0~2歳)	63	34.4%
未就学児 (3~5歳)	182	99.5%
小学生	86	47.0%
中学生	17	9.3%
高校生	4	2.2%
18歳以上	0	0.0%
全体	183	100.0%

問3：アンケートの回答者

「母親」の回答が85.2%と最も多くなっています。



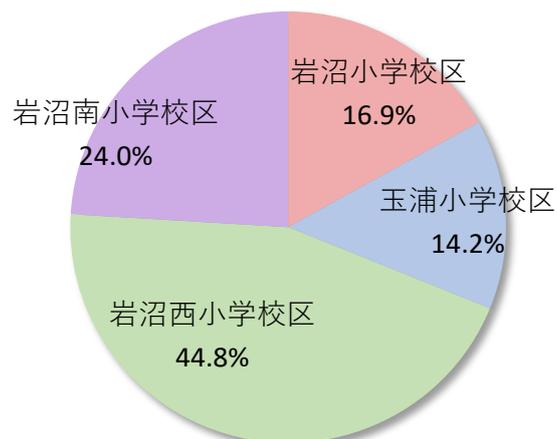
カテゴリー名	n	%
父親	26	14.2%
母親	156	85.2%
その他	1	0.5%
全体	183	100.0%

【その他の意見】

その他の意見
父親と母親の両方（二人で回答内容を検討した）

問4：居住地区

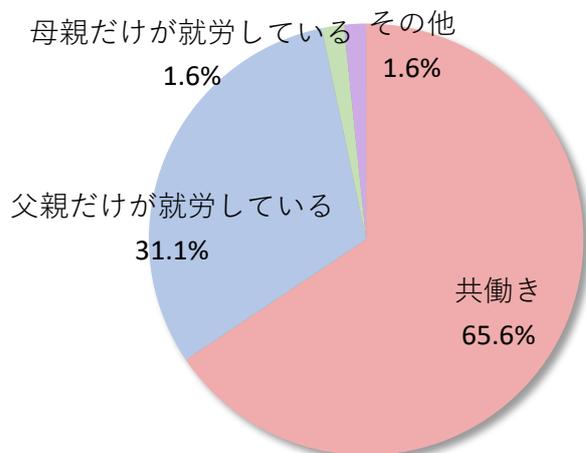
「岩沼西小学校区」に居住している方の回答が最も多くなっています。



カテゴリー名	n	%
岩沼小学校区	31	16.9%
玉浦小学校区	26	14.2%
岩沼西小学校区	82	44.8%
岩沼南小学校区	44	24.0%
全体	183	100.0%

問5：保護者の就労状況

約6割が「共働き」となっています。



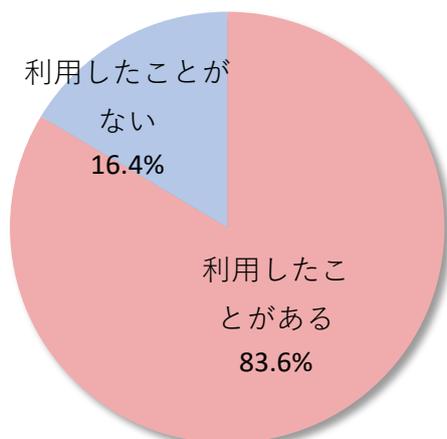
カテゴリー名	n	%
共働き	120	65.6%
父親だけが就労している	57	31.1%
母親だけが就労している	3	1.6%
その他	3	1.6%
全体	183	100.0%

【その他の意見】

その他の意見
母育休中
ひとり親
離婚、母のみ就労

問6：ハナトピア岩沼を利用したことがありますか。

ハナトピア岩沼を利用したことがある人が約8割を占めています。

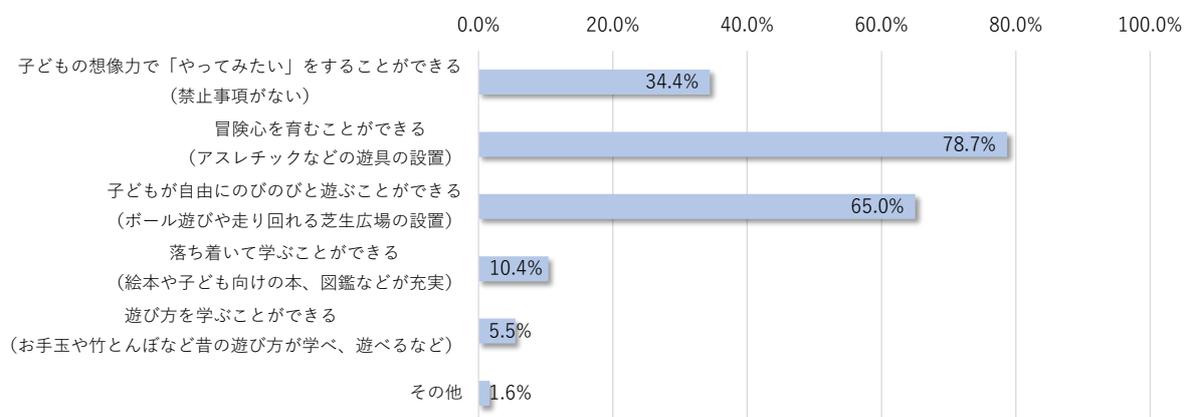


カテゴリー名	n	%
利用したことがある	153	83.6%
利用したことがない	30	16.4%
全体	183	100.0%

3-5 ハナトピア岩沼の利活用について

問7：子どもの遊ばせ方や育み方についてどのようなことが重要だと思いますか。（あてはまるもの2つ以内選択）

「冒険心を育むことができる」が78.8%と最も多く、
次いで「子どもが自由にのびのび遊ぶことができる」が65.0%となっています。



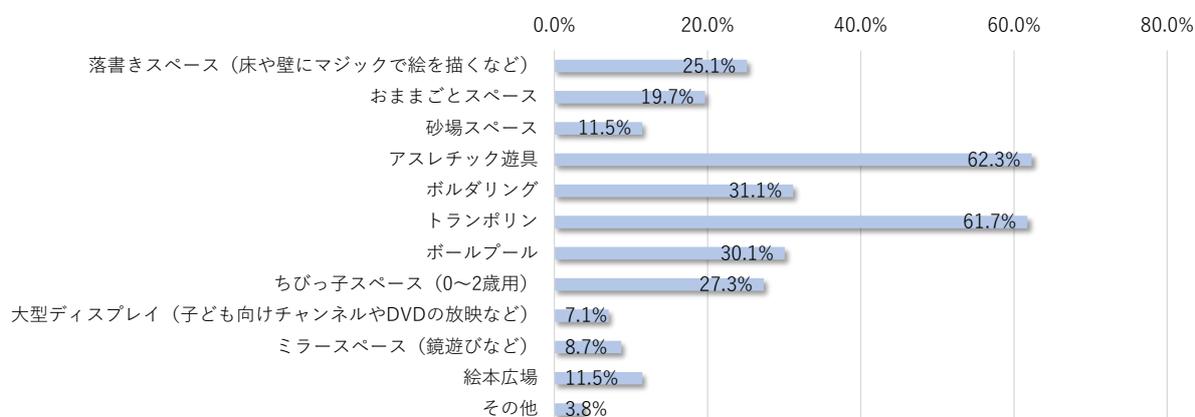
カテゴリー名	n	%
子どもの想像力で「やってみたい」をすることができる (禁止事項がない)	63	34.4%
冒険心を育むことができる (アスレチックなどの遊具の設置)	144	78.7%
子どもが自由にのびのびと遊ぶことができる (ボール遊びや走り回れる芝生広場の設置)	119	65.0%
落ち着いて学ぶことができる (絵本や子ども向けの本、図鑑などが充実)	19	10.4%
遊び方を学ぶことができる (お手玉や竹とんぼなど昔の遊び方が学べ、遊べるなど)	10	5.5%
その他	3	1.6%
全体	183	100.0%

[その他の意見]

その他の意見
お花を見に行く
自然との触れ合い
回答項目すべて必要

問8：ハナトピア岩沼にあると嬉しい屋内遊び場の遊具などは何ですか。（あてはまるもの3つ選択）

「アスレチック遊具」「トランポリン」が約6割を占めています。



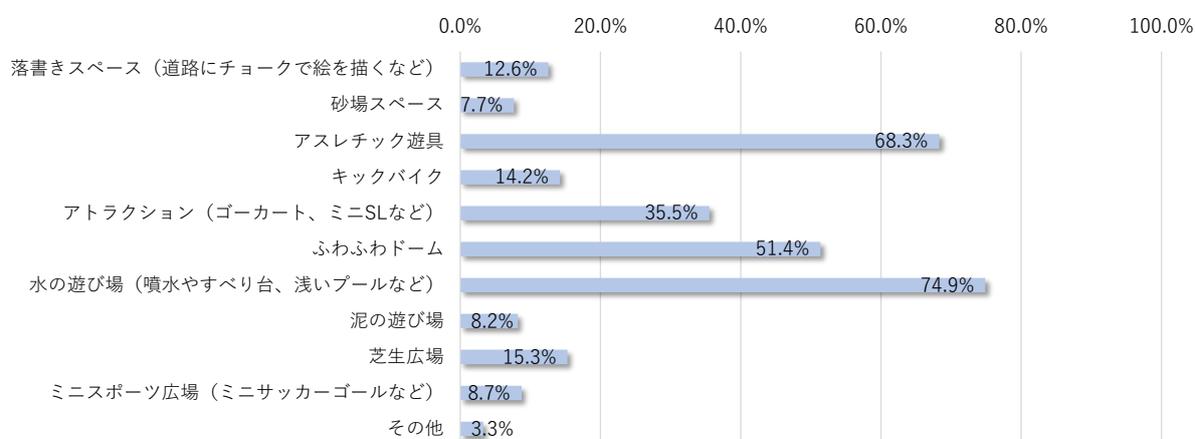
カテゴリー名	n	%
落書きスペース (床や壁にマジックで絵を描くなど)	46	25.1%
おままごとスペース	36	19.7%
砂場スペース	21	11.5%
アスレチック遊具	114	62.3%
ボルダリング	57	31.1%
トランポリン	113	61.7%
ボールプール	55	30.1%
ちびっ子スペース (0~2歳用)	50	27.3%
大型ディスプレイ (子ども向けチャンネルやDVDの放映など)	13	7.1%
ミラースペース (鏡遊びなど)	16	8.7%
絵本広場	21	11.5%
その他	7	3.8%
全体	183	100.0%

【その他の意見】

その他の意見
迷路
トミカやプラレール
子供向けの広いプール施設 (25m プールその他、小さめの滑る台など色々遊べる)
木育広場
室内滑り台、室内ブランコ
こじゅろうキッズランドのような赤ちゃん~小学生まで雨でも遊べるような遊具があると嬉しい。ただし、場所はハナトピアに限定する必要性はないと考えられる。
バスケットゴール

問9：ハナトピア岩沼にあると嬉しい屋外遊び場の遊具などは何ですか。(あてはまるもの3つ選択)

「水の遊び場」が74.9%と最も多く、次いで「アスレチック遊具」が68.3%となっています。



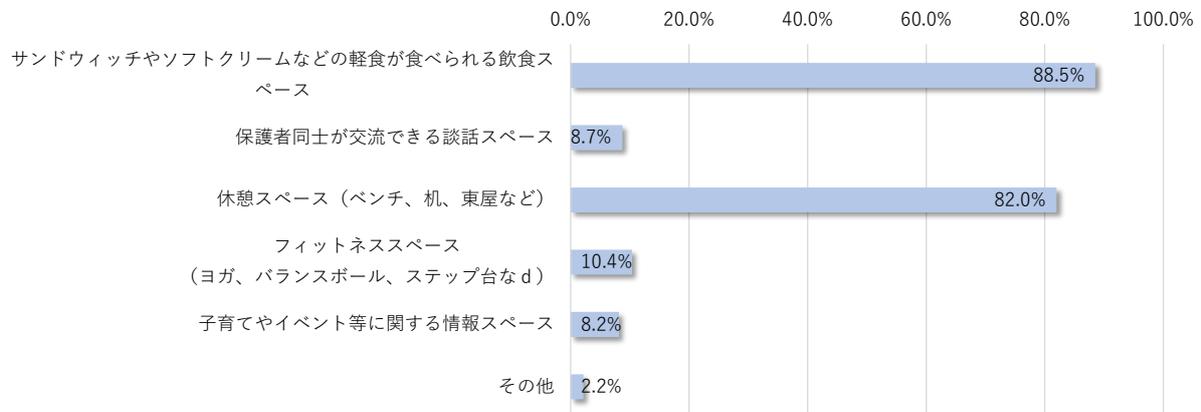
カテゴリー名	n	%
落書きスペース (道路にチョークで絵を描くなど)	23	12.6%
砂場スペース	14	7.7%
アスレチック遊具	125	68.3%
キックバイク	26	14.2%
アトラクション (ゴーカート、ミニSLなど)	65	35.5%
ふわふわドーム	94	51.4%
水の遊び場 (噴水やすべり台、浅いプールなど)	137	74.9%
泥の遊び場	15	8.2%
芝生広場	28	15.3%
ミニスポーツ広場 (ミニサッカーゴールなど)	16	8.7%
その他	6	3.3%
全体	183	100.0%

[その他の意見]

その他の意見
宮城県にはプールが少ないので、プールがあると画期的で人が増えるはず です。また、交通公園化もいいと思う。
芝生公園、アスレチック遊具、ふわふわドームなどは千年の丘公園にもあ る。市内及び隣接自治体に無いものを選んではいかがか。
ブランコ
「ジュニパーク岩沼 (岩沼海浜緑地公園) 南ブロック」や「グリーンピア 岩沼」のようなローラー滑り台やバーベキュー広場があると嬉しい、正、 場所はハナトピアに限定する必要はないと考える。
巨大滑り台
バスケットゴール

問 10：保護者にとって、ハナトピア岩沼にあると嬉しい“子どもを見守りながら過ごせる”場所・スペースは何ですか。（あてはまるもの2つ選択）

「サンドウィッチやソフトクリームなどの軽食が食べられる飲食スペース」が88.5%と最も多く、次いで「休憩スペース」が82.0%となっています。



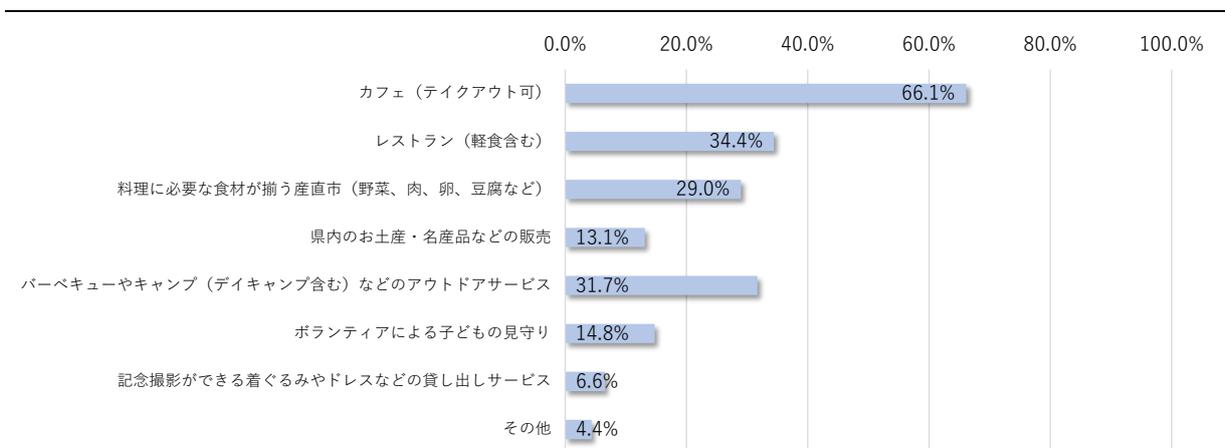
カテゴリー名	n	%
サンドウィッチやソフトクリームなどの軽食が食べられる飲食スペース	162	88.5%
保護者同士が交流できる談話スペース	16	8.7%
休憩スペース（ベンチ、机、東屋など）	150	82.0%
フィットネススペース（ヨガ、バランスボール、ステップ台など）	19	10.4%
子育てやイベント等に関する情報スペース	15	8.2%
その他	4	2.2%
全体	183	100.0%

【その他の意見】

その他の意見
ベンチが多めだと助かる。
「こじゅろうキッズランド（2F）」のように、座敷のような（靴を脱いで）子どもがハイハイして遊べるような場所があり、その近くにイストテーブルが設置してあると嬉しい。ただし、場所はハナトピアに限定する必要性はないと考える。
絵本の読み聞かせスペース
子どもが安全に過ごせる場所

問 11：保護者にとって、ハナトピア岩沼にあると嬉しい施設やサービスは何ですか。（あてはまるもの2つ選択）

「カフェ（テイクアウト可）」が約6割を占めています。



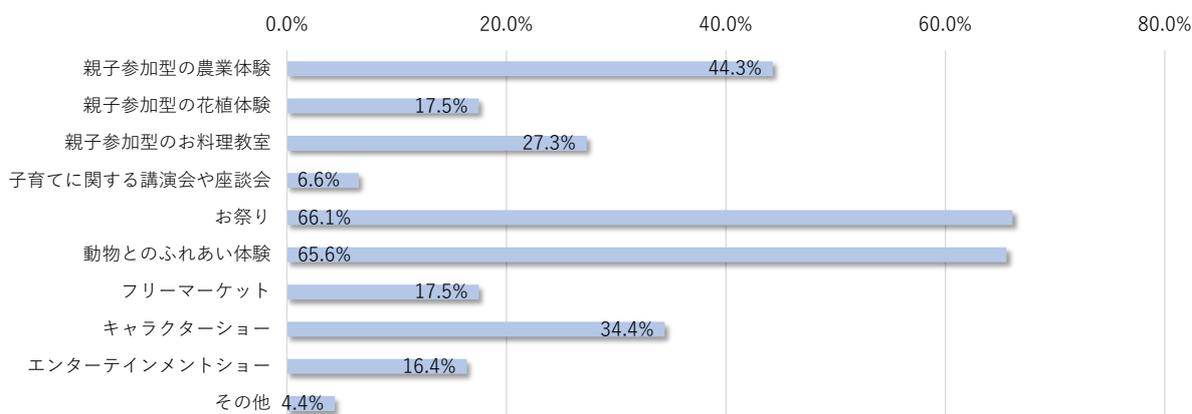
カテゴリー名	n	%
カフェ（テイクアウト可）	121	66.1%
レストラン（軽食含む）	63	34.4%
料理に必要な食材が揃う産直市（野菜、肉、卵、豆腐など）	53	29.0%
県内のお土産・名産品などの販売	24	13.1%
バーベキューやキャンプ（デイキャンプ含む）などのアウトドアサービス	58	31.7%
ボランティアによる子どもの見守り	27	14.8%
記念撮影ができる着ぐるみやドレスなどの貸し出しサービス	12	6.6%
その他	8	4.4%
全体	183	100.0%

[その他の意見]

その他の意見
多賀城の図書館みたいにカフェと絵本などを掃除に利用できる施設があると嬉しい。
ボール、フリスビー等の遊具の貸し出し
パン屋さんがあると嬉しい
あると嬉しい施設やサービスについて、場所をハナトピアに限定する必要性はないと考える。
自転車貸し出しサービス（金蛇神社やグリーンピアなど周辺施設と連携）
カフェ以外の他の選択肢の必要性を感じない。
無料で子どもが遊べる屋内遊戯場
幼児用のトイレ

問 12：ハナトピア岩沼にあると嬉しいイベントや体験は何ですか。（あてはまるもの3つ選択）

「お祭り」「動物とのふれあい体験」が約6割を占めています。



カテゴリー名	n	%
親子参加型の農業体験	81	44.3%
親子参加型の花植体験	32	17.5%
親子参加型のお料理教室	50	27.3%
子育てに関する講演会や座談会	12	6.6%
お祭り	121	66.1%
動物とのふれあい体験	120	65.6%
フリーマーケット	32	17.5%
キャラクターショー	63	34.4%
エンターテインメントショー	30	16.4%
その他	8	4.4%
全体	183	100.0%

[その他の意見]

その他の意見
プログラミング親子体験
スポーツ体験イベント
親子の交通安全イベント
虫取り体験
親子でスポーツ体験
お祭り（イベント）の中で、農作物の収穫体験や子どもが乗れるミニSL、スタンプラリー、岩沼の地元の料理の販売（その場で飲食できるスペースもあると嬉しい。）、地元の農作物の販売があると嬉しい。熊本県大津町で開催している「からいもフェスティバル」に参加したことがあり、とても楽しかった記憶がある。そのようなイベントだと地域にも地域外にも喜ばれると考える。
虫取り大会、虫や生き物の観察
映え写真が撮れるスポット

問 13：自由意見

No.	自由意見
1	ICT を活かした体験型施設が理想的です。
2	イベントによっては、周辺の駐車場も案内できるようにするなどすると活用の場は広がると思います。
3	子供たちがここでなら特別な体験も出来て、思いっきり遊べるという施設になったらとても嬉しいです。子供たちがのびのび遊べる施設が増える事を期待してます！（2歳4歳の母）
4	室内外でものびのびと遊べて、かつ、ままごとやカプラ、プラレール、絵本等ゆったりじっくり遊べる、“動”と“静”を兼ね備えた遊び場があると嬉しいです。（例を挙げると白石市のこじゅうろうキッズランドのような施設）リニューアル、期待してます！
5	気軽に楽しめてみんなが集いやすいオシャレな場所にして欲しい、授乳スペースやミルク作る所、キレイなトイレが欲しい
6	親の見守りは必須だけれど、子供たちが少し暴れ回っても怒られたりしない、親も少し気を許せるような場所が欲しい。
7	コロナ、温暖化となかなか子供達が遊べる場所が少ない中、商業施設はできると噂を耳にします。子供がいる親の目線では赤ちゃんでも遊べる施設や活発に動く子供の施設などがほぼありません。温暖化が進みなかなか外でも遊ばせません。大きい施設というより2.3箇所に分けて室内でも遊べる施設があるといいなあと感じます。例えばこじゅうろうきっずらんどのような感じの施設です。私は接客業をしてお子さんがいる方からのご意見も多く聞きます。ぜひ前向きにご検討いただける嬉しいです。そしてこれから子供達も楽しめる場所が増えていいのではないかと感じます。
8	杜の湖畔公園の様に年間を通じて四季の花が見えると良い。せっかく公園にきたら、園内を散策して遊んでランチでもして帰りたい。
9	岩沼市内には子供が遊べる施設が他市町村に比べ、圧倒的に少ないと感じています。そういった施設に行くために車を利用して市外に行くことも多々あります。それよりも、市内に気軽に行けるような場所があると親の負担も少なくなると思いますし、子育てしやすい街作りに繋がっていくのではないのでしょうか。
10	よく利用させて頂いています。未就学児は自転車など持ち込めるため、雨上がりなど公園の遊具で遊べない時にも利用させて頂いています。子供達も、ハナトピアが大好きで現状でも満足しておりますが贅沢を言えば、ブランコが他の公園よりも低すぎたり、自転車の補助輪がガタついてバランスが悪かったりするものがあるのでメンテナンスしていただければ、より楽しく遊べるかと思えます。 ・遊び場にあつては、未就学児と児童のエリア分けされてたほうが嬉しい（安全面の確保） ・屋外は日陰（強い日差しや雨風をしのげる）スペースが欲しい
11	子供がどんどん大きくなるので、遊び場等を作っていただけるなら、なるべく早く作ってほしいです。
12	天候関係なく遊べる屋内遊具や、岩沼市内にない水遊びスペースがあるところを期待します。また、年齢差がある兄弟も一緒に遊べるよう幅広い年齢層を想定してほしいです。
13	子育て支援センターが土曜日休みになり、天候が悪い日の遊び場が減ってしまったので、屋内の遊び場も充実させて欲しい。
14	子どもが生まれてから6年、白石の小十郎ランド、角田の交通公園はよく使いました。岩沼の千年希望の丘公園、臨空公園にもよく行きます。七ヶ宿には川遊び・水遊びに行きました。ハナトピア、グリーンピアにはほとんど行きませんでした。岩沼には小十郎のような室内遊具がありません。暑い日の水遊び場もないですね。名取から大河原、角田、亘理あたりを念頭に、その中で何が足りないのか、目玉になるのは何かを検討されるのがいいのではないかと思います。 室内で小さな子供たち（幼児、未就学児、小学生）が遊べるような施設を作って欲しいです。白石の小十郎キッズランドのような施設だと嬉しいです♪
15	ストライダーのコースがあつたらいいなと思います。

No.	自由意見
16	折角の広い土地が今は有効活用されておらず子どもの遊べる遊具も少ないのでこの頃行くことはなかった。子どもの利用を多く持つならばもっとコーナーをより分け、年齢や月齢に適した遊具や環境にしないと遊びに行ってみたいと感じない。花を生かした庭園も良いが、今の急降下な階段の花壇は子ども向けではないし怪我に繋がる。しっかりとターゲットを絞り誰もが遊びに行きたくするような環境、遊びの提供をしないと岩沼市の子どもも減っていく一方だと思えます。
17	玉浦地区に住んでいるので、アスレチックも近くにあるし、バーベキューもできるし、県内の物も地場産品もたくさん玉浦食彩館に置いてあるし、昔から西地区は怖くて中々行かなかったのが本当に県北にあるような巨大な室内アスレチックでもなければリニューアルしても行かないと思えます。
18	子どもがキックバイクや初めて自転車を乗るようになり、よく利用しています。朝日山公園は遊具で遊べますが自転車は危険なため、緩やかな道を自由に走れるハナトピアに行くことをとても喜んでます！しかも無料なのはとてもありがたいです。麺組がなくなったので、家族連れで入りやすい、尚且つ麺組のように大人にも人気のあるような飲食店があると、そこに行く付加価値もでき、子連れ以外の集客も見込めていいのかなと思えました。
19	土日に暑くても寒くても、楽しく遊べるとこだと嬉しい☺
20	ハナトピアは一度訪れたことがあるのですが せっかく敷地があってももったいないな…何か物足りなくともう一度行きたい！と思う魅力がなくて残念に思っていました。ぜひ、岩沼市にも夏から秋初めまでだけでも水遊びできる遊び場が欲しいです！岩沼市ももったいない公園が多いような気がします… わざわざ他県や、湖畔公園に遊びに行っていたので 魅力ある岩沼市を期待しています！子育て世代の心をがっつり掴む新しい施設を楽しみにしています。
21	岩沼小学校学区なのですが、公園は狭いし、遊べる遊具は少ないし、回りの目を気にせず遊べる所が学校の校庭くらいなので、少し改善して欲しいです。あと、どの公園も砂場が無くなり、ボール遊びも出来ないのが、子供が不憫に思えます。公園が無理ならせめて小学校の校庭をみんなが楽しめる場所にして欲しいです。
22	今もある自転車の貸し出しは、練習などで活用できて良かったです。今後も継続してほしいです。
23	近所なので、よく利用させていただいています。広大な敷地なので、もっといろいろ活用してもらい子供も大人も楽しめる施設になってほしいです。飲食スペース、カフェなどが併設されると長時間いれそうです。
24	みなみプラザや東子育て支援センターや、角田道の駅が子供が好きなので、そのような施設がハナトピアに出来ると嬉しいです。みなみプラザと東子育て支援センターは土日にやってないので、ハナトピアに作ってもらえるとありがたいです。
25	理想は、道の駅のような場所。またはかわまちテラスのような場所。大きい子向け、小さい子向けの遊具もあると嬉しい。朝日山公園や里の杜中央公園で昔は水遊びできたのに、今はできないのがさみしく感じる。水遊びができる場所が市内にあったらありがたい。子ども同士でのケガやトラブルにならないよう年齢制限や注意事項等決めてあるといいのではないかと思います。お花がたくさんキレイに咲いているので、映えスポット等も作るのも面白そう。
26	ハナトピアはいつももったいないと思っていた。道路向かいにも施設がある…研修施設、会議室のようなものなら同じようなものが複数あるように思う。福島二本松のキッズパークや白石の小十郎ランドのような屋内施設があるとうれしい！周辺施設も含めて同じようなものがあるとさらにうれしい。ただあの広い調理スペースは魅力的。料理教室は子供に手がかからなくなったらまた通う予定。昔、料理が好きな男の子が私含むおばさまがたに混じって参加していた時もあった。他にも紫蘇ジュースや味噌、もちなど色々な教室が季節ごとありいつか行こうと楽しみにしていた。静かに花を見ながら散歩するのも魅力的だが遠出できない今、近くに心がワクワクするような施設ができるのはとても嬉しいことだと思う。応援しています。

No.	自由意見
27	早期の完成を希望します！
28	早期の完成をお願い致します！
29	屋内、屋外どちらにもベンチは多めに設置希望です。いろいろな施設に行きますが、ベンチが少なく長時間立っている状況があります。子どもの数だけ親もおりますし、子どもは体力があり、長時間遊び続けます。親は下の子がいるとずっと抱っこしていたり、オムツや水筒、着替えなど荷物も多いので、ベンチで休めると助かります。ご検討よろしく申し上げます。
30	子供達とよく自転車の練習で利用します。小さい子供しか自転車乗れないため、安心して練習出来る事が非常にありがたいです。また、ハナトピア内に自転車が置いてあるのも有り難い。
31	キャンプが流行っているので、アウトドアっぽい遊びができるようになると人が集まると思います。
32	お出かけの計画を立てる時、屋外ならと屋内ならのそれぞれの場所を検討します。両方できる施設だと来てくれる家族が増えるんじゃないかと思います。お花が沢山よりも遊具などで長い時間居られる方が有難いです。段差はあまりないと良いなと思います。近くに飲食店もあまりないので、ハナトピア内にしっかり食事が取れる場所とお弁当持ち込みもOKだと金銭的にも優しいと思います。帰りに買い物も出来ると色々できる道の駅みたいな感じで理想です。無理を言いまくってすみません。
33	滑り台やブランコがあるが、子供達はすぐにあきてしまいます。太陽の村のように、トランポリンやそり滑り、ストライクのコースがあると飽きないで過ごせる。また、夏の時期は名取のサイクリングや山元の噴水で遊べる公園に行くので、岩沼にも噴水で遊べてバーベキューができるような、花トピアとグリーンピアのいいところ取りをした施設があるといい。
34	緑もあり花もあり 子供達が自然に触れ合うことが出来るスペースもあり、夏には網で囲ったカブトムシ クワガタなどがいるところなどもあると一年中楽しめるかなと思う。そして5月のこどもの日には鯉のぼりを飾ったり(^)山形県天童市にあるげんきっず 福島県相馬市にある尾浜こども公園のような ところだと とてもうれしい。
35	授乳室や子供トイレがあると尚良いと思います。岩沼は飲食店がたくさんある割にファミリーや、ママ達が集まってゆっくり出来るレストランが少ないです。子供の多い街なのにもったいないなと思います。千葉県から転居してきましたが、キッズスペースのある飲食店がないことに驚きました。子育てをしている方々がゆっくり食事できる場所も必要だと思います。
36	子育て支援センターは、未就学児のみで、小学生がいる家庭は利用できず、長期休業時に8歳、5歳、2歳を家で一人で見続けなければならず、精神的にしんどいものがありました。小学生も未就学児も遊べるような施設となると、白石のこじゅうろうキッズランドや、名取のキッズワールドなどに行かなければなりません。岩沼で、天気にも左右されず、遊べる場所ができると、とても助かります。
37	すごく広い芝生スペースが素敵なのでピクニックがしたいと思っていました。世間では逆風な子育て世代ですが、こうして子どもと過ごしやすいよう工夫しようとしてくれることがとても嬉しいです。リニューアル、楽しみにしています！
38	岩沼市内に特に屋内の遊び場が少なく不満に感じておりました。雨の日も体を動かしてエネルギーを発散できる施設があればなあ、と。個人的には、ハナトピアがそんな施設になったらとても嬉しいです。そうでないとしても子どもが遊べる施設になったらとても嬉しいです。リニューアル楽しみにしております！
39	ハナトピアの有効活用は賛成です。今現在のハナトピアの雰囲気を変えていただけるよう、期待しています。
40	毎週利用しています。娘は虫捕り、息子は自転車と楽しんでいます。一年中様々な種類の花があちこちに咲いていると嬉しいです。

No.	自由意見
41	今の子が何年後かに社会に大きく貢献する人材です。どうか独自の施策で、岩沼で子育てをしたい!!と思わせるような市にしてください。
42	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅「天童温泉」の様に飲食も出来て、アイスも売っていて、尚且つ水遊びができる公園がいいです。 ・相馬尾浜こども公園の様な屋内も屋外もあって、無料とは思えない公園がいいです。 ・もち豚館の様な新幹線が見えたり、公園があり、動物にエサがあげられる施設がいいです。 ・現在のハナトピアは三輪車がボロボロで、アイスも売っていない。以前にあったラーメン屋は激混みでご飯も食べられず、子供向けではありません。維持費に見合った施設になるようにしてください。クラウドファンディングも検討されてはいかがですか。
43	<p>ハナトピアの利用頻度が高い親子です。子供が赤ちゃんの時からよく利用させて頂いております。ハナトピア岩沼の利用法については以前から大きな伸び代を感じており、施設全体をエンターテイメント施設のような存在として、岩沼の目玉スポットになるような、みんなが行きたくなるような“楽しいテーマパーク”としてよりよく改善して頂きたいと感じておりました。ハナトピア岩沼の駐車場スペースなどを利用して、毎月1~2回、日曜日などに各種マルシェやパンフェス、キッチンカーイベントを開催して頂きたいです。また、誰でも参加できる朝市やお祭りや花火大会などを開催していただきたいです。ハロウィンイベントやクリスマスマーケットなど、季節に応じたイベントの開催も楽しみが増えて、何度も足を運びたくなります。気軽に入れるカフェは絶対に欲しいと思います。あまり高価ではなく、専業主婦のお小遣いでもふらりと気軽に入れる値段設定が重要なポイントです。リピーターになると思います。また、子供を遊ばせながらフライドポテトやパン、ジェラートやかき氷などの安価な軽食を買ってすぐに食べられたら子育てママは助かります。白石の小十郎キッズランド 角田の交通公園、川崎のみちのく湖畔公園、大衡村の万葉クリエイティブパークなど、子供が何回も行きたくなるような施設で、料金設定も安価であれば、子育て世代の親は大変助かります。ハナトピア岩沼は魅力的な施設です。ただそれが全く市民に浸透しておらず、一部の人しか利用しないため、もったいないと思います。ハナトピア岩沼のより魅力的な活用法はまだまだ沢山あると思っております。利用法に関しては今後も保護者の定期的な座談会を設けてもいいと思いますし、ひとつのやり方で終わるのではなく、時代に合わせた活用法やイベント企画を継続していくのが理想的だと思います。</p> <p>以上、ご検討くださいますよう何卒お願い致します。</p>
44	<p>岩沼市は竹駒神社や金蛇水神社がある為、県外から来る方も多いかと思います。「せっかく岩沼に来たんだから、ハナトピアに寄って行こう。」と思ってもらえるような、素敵なお名前になる施設だと思っています。夜も営業してるレストランがあると魅力的です。ハナトピア内をライトアップし、レストランで食事をした後に歩いて見て回れるようにすれば良いなあと感じていました。また、キャンプ場としても魅力的です。駐車場にキッチンカーを招いて食のイベントをしてみたり、お祭り等のイベントも頻繁に行って欲しいです。子供達もハナトピアが大好きなので、子供が思いっきり遊べ、親もストレス発散ができる場所になれば良いなあと願っています。</p>
45	<p>いつもよく娘と利用させて頂いています。花もキレイで空間が広くお気に入りの場所です。外はもう少しだけ遊具などが充実していて、中は雨が降ったり暑くても遊べるスペースが少しあると、さらに利用しやすいと感じています。娘は来年から小学生になるので利用頻度は少なくなると思いますが、娘が赤ちゃんの時から沢山遊んできた思い出の場所です。素敵なリニューアルを楽しみにしています！</p>
46	お花がいつもきれいに咲いてていいです。

No.	自由意見
47	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場は山元町のつばめの杜公園のような噴水が出て裸足で遊べるスペースがあると嬉しい ・駄菓子屋があればいいと思う ・今のハナトピアは遊具がちょっとしかなく遊ばせるにはいまいちだった ・ハナトピアで無料で借りられる自転車や子供用の乗り物に乗せてよく遊ばせていた。だが対象は未就学児のみ。来年度は小学生と幼稚園児の親です。来年度小1で自転車の利用ができなくなるが、上の子もまだまだハナトピアの乗り物で遊びたい年。上の子と一緒に遊べないのでは来年度から行く機会は減ると思う。また子育て支援センターも対象は未就学児のため、小学生と未就学児と一緒に利用できないのは不便であり、小学生と未就学児どちらも楽しむことができる環境がほしい。なので屋内施設は未就学児のみなどに限定しないでほしい。 ・園内に小さいマスコットなどをいくつか隠し子供と一緒に探すようなものがあれば園内をまんべんなく回れると思うし花を見ながらなど楽しめると思う。 ・簡単な職業体験ができるイベントがほしい。消防士やケーキ屋さんなど子供が楽しめる体験。 ・ソリで滑れるような傾斜があればソリ遊びも楽しそう。
48	<p>子供を遊ばせられるのであれば 子供が駐車場や外に簡単に出れてしまうと事故なども起きやすいとおもうので そうならないための柵などの設置も しっかりしてほしいです。また、小さい子供も遊べるのであれば ふわふわドームなどだと大きい子に 突き飛ばされるなどもよくあるので ルールを決めた上でしっかり監視して 注意して頂けるといいなとおもいました。可能であればですが、子供のオムツや軽い着替え服の 販売もあるとなにかあったときに いいなとおもいました。たのしみしております。</p>
49	<p>園内何度か利用したことあり。手入れも行き届いておりキレイであるため居心地はよい。大人（年配）のスロータイムスペースとして。子供の遊具はあるが他の大型公園との差別がないため穴場的に利用した程度である。視点は変わるが今後増えていくスケボーや自転車などのニュースポーツ施設はどうかと思う。新たな世代があえて訪れるスポットになれば利活用になるのでは。駐車場内での働く車やスーパーカーの集まるイベントとか。他施設で開催していることをハナトピアでも開催するだけでは単に利用になってしまう。</p>
50	<p>岩沼はもったいない。買い物するにも、公園で遊ぶも、バーベキューするにも市街へ出てしまう。なぜなら行きたい、行ってみたいという魅力を感じられないから。市内の公園はちょっと時間が空いたときだけ行く所。時間があるときはやっぱり名取市、白石市、川崎市などこどもが確実に喜ぶ場所に出向いてしまう。岩沼に魅力の施設があれば集客も期待できるし、通りすぎる街にはならないはず。晴れても、曇りでも、雨でも、ここに行けばこんな楽しいことがあるという定着が肝心だと思う。週末にはキッチンカーが必ずある、そこに行けばみんなが楽しめるのが大事。料金を支払っても行きたい特別な場所。今のニーズに寄り添った計画を実行していただけるよう期待しています。みんな岩沼を盛り上げましょう。</p>
51	<p>子供がストライダーや車のオモチャに乗るのが好きでよく利用しています。夏は水遊びができたり、アスレチックや大型遊具が充実しているともっと楽しいなと思います。</p>
52	<p>自転車が未就学児だけだったので小学生の上の兄弟が乗れず、喧嘩になりました。</p>
53	<p>駐車場が広いのでキッチンカーが来て欲しいです。ハンドメイド市を定期的で開催するとか。今は遊びに行っても花を見て一周散歩して終了なので、なんだか物足りないです。</p>
54	<p>素敵なりニューアルを期待しております。大変かと思いますが、よろしくお願ひします。</p>
55	<p>リニューアル楽しみにしております。大変かと思いますが、よろしくお願ひ致します。</p>

No.	自由意見
56	基本的にハナトピアに限定する必要性は無いと考える。限りある予算を集約すべきで、ハナトピアを活用するのではなく、グリーンピアと総合体育館(ビッグアリーナ)/陸上競技場/多目的グラウンドに機能を集約し、手厚いサービスをそこで提供すべきと考える。加えて、市民体育センターや鍛冶スポーツ公園、朝日山公園野球場、朝日山公園テニスコート、市民テニスコートについても、廃止し、機能を集約して無駄を無くすべきと考える。
57	子どもが小さい頃から、散歩コースとして利用させて頂いています。夏場は暑く、水遊びスペースや涼める場所があると有難いです。また、遊具が小さいので、小学生でも楽しめるアスレチックや滑り台等あったら子どもがとても喜ぶと思います。小さい子の自転車貸し出しも有難く、大人や小学校用に、周辺施設まで行ける自転車貸し出しサービス等あると一日楽しめそうです。軽食が食べられたり、手洗い場やトイレなどもキッズ向けのサイズがあると嬉しいです。子どもたちはハナトピアではよく虫やカエルを探したりしているので、虫などの種類が書いてあるコーナーなどがあると、虫や生き物の観察も楽しめるのではないかと思います。冬場はそり遊びなどできたら嬉しいです。
58	習い事ができるスペースも欲しい
59	上の子達二人ともハナトピアで自転車の練習をし、自転車に乗れるようになりました。お散歩しつつ、園内を自転車でサイクリングも出来る、ゆったりとした空間が好きです。ちょこっと遊具があり、上の子達が小さいときにはピクニックをし、お弁当を食べたりしました。少し物足りなさがあるので、そこをプラスしていただければいいのかなと思います。大規模なアスレチック遊具は個人的にグリーンピアの方がいいのかなと思います。
60	せっかくある綺麗な施設を、子供たちのため市活性化のために是非フル活用してほしいです。
61	アスレチックやアトラクション、夏になればプールなど水で遊べる、屋外施設が充実していると子供と遊びに行こうと思う。
62	何度か利用したことがあります。すべてが中途半端な印象でした。遊具は少ないし、自転車に乗ったりできるのは良いが壊れていて使えなかったり、逆に整備されているのか解らないから危ない。やるなら交通公園にして実際に使われていた信号機や踏切などを置いて、子供達が交通ルールを学びながら遊べるようにしたり、せっかく山からのキレイな水があるのだから、夏は水遊びができるように湖畔公園のように小川が流れている感じや、小さな噴水などあったら良いと思う。屋内施設も岩沼の山林の木々を利用して、木のぬくもりを味わえる遊具やおもちゃ、アスレチックにしてみてもどうか。木のおもちゃは小さな子供の発育に良いとされているので。岩沼のキレイな水や山、自然をアピールするべきだと思います。宜しく願いいたします。
63	雨天時に屋内で体を動かして遊べる施設が少ないと感じるので、赤ちゃんたちだけではなく、大きい子どもも遊べる施設が増えるとよい。また、市内にバスケットゴールが設置されている公園や、施設がないので片面だけで良いので何か所かあるとよい。
64	季節や天候に関係なく体を動かしたり好きなことができる、安全に配慮した施設があるといい。子どもたちだけで参加できるワークショップなどがあると、保護者もリフレッシュできると思います。
65	一部芝生などありますが、せまくて自由に遊べることはとてもできなくて、シートを広げてご飯食べるようなスペースとしても桜の木から遠いなど魅力を感じません。桜の時期はとても綺麗なので見に行きますが、鑑賞+αをかんがえボコボコした路面、高低差をフラットに芝生エリアに整備して、集って長く滞在できるようにしてほしいです。広い芝生エリアがあれば、キャラクターショーなども集うスペースがあり、見やすくなるのではないのでしょうか
66	岩沼市は大きな公園が多く晴天時は選び放題なのですが、雨の日になると遊び場に困ることが多いので、ぜひ屋内施設を充実させてほしいです。

No.	自由意見
67	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェやレストランができる場合は、出来るだけ地場野菜の使用や添加物を使用しない体に優しいご飯が食べられるところになれば積極的に利用したいです。 ・屋内遊び場は福島の国見ももたん広場のようなポーネランド監修の遊び場だと嬉しいです！ ・屋外遊び場はプレイリーダーがいる冒険遊び場になってくれたら、嬉しいです！
68	是非隣県の例を参考にしてください。検索すればたくさん出てきます。福島や山形は自治体ごとに1箇所は屋内遊び場がある印象です、しかも無料。岩沼市から、相馬市の尾浜こども公園に行ったりしています。本当に宮城県は室内遊び場が無い…白石の小十郎キッズランドも有料であるのが残念。設備が素晴らしいのは嬉しいけれども、毎日行けるような気軽な施設の方がいいです。安達原ふるさと村にある「げんきっずパーク」もすばらしい。このようなアンケートで回答する機会を設けていただきありがとうございます。子育て世代の意見を十分に受け入れ、より良い施設になることを期待します。よろしくお願ひいたします。
69	自転車など自由に使えるのはありがたいなと思っています。小学生の低学年くらいまで使えたらいいなと思いました。
70	今まで利用させて頂いた中で、幼児用の三輪車を貸して頂いたのは嬉しいサービスでした。今、子どもが5歳ですので、もっとアスレチックが充実したら訪れる機会が増えるかなと思います。木やロープなどを使ったアスレチックが希望です。
71	公園はたくさんあるが、天候や季節を問わない屋内で遊べる場所がありません。ぜひハナトピアに作って頂きたいです!!
72	岩沼市全体のロスを防ぐためにも、ハナトピアでしかできない施設やアクティビティを追求してほしい。また、[子育てする大人]の遊び場にはなあってほしくない
73	小十郎キッズランドのような大型の屋内遊具があると嬉しい。また、子育て支援センターへ遊びに行きたくても小学生がいると全員を連れて遊びに行けないため、幅広い年齢層に対応した施設があると嬉しい。その場合、見守りの人(子育て支援センターのような)がいると大変ありがたいです。
74	ハナトピアに子連れで楽しめる遊具やイベントがあるともっと利用しやすくなると思います。また、室内の遊び場ができると雨や冬場など遊びに行くことができるので嬉しいです。岩沼市が子育て世帯に優しい都市になりますように。
75	しっかりした広い室内遊び場を作れば市内外から人が来ると思うが、あまり力をかけずに作ると誰も来ない施設になってしまうので、他の場所にはない遊具などを取り入れて欲しい(垂直に落ちる滑り台など)
76	幼児用のトイレや手洗い場がたくさんあると嬉しいです。「岩沼感」が感じられて、岩沼係長がたくさんいる遊び場だと、特別な感じがして面白そうです。
77	岩沼には水遊びができる公園がないので、水遊びができる噴水や小さな池があると嬉しいです。(親としては側で見守ることができる、日陰になる座れるところがあるとありがたい)また、天気が悪い日でも身体をのびのび動かして遊べる屋内遊び場、乳幼児はもちろん小学生までもそれぞれの年齢で楽しめる遊具があれば嬉しいです。(理想はファミリーパークだてのような感じ) ご検討よろしくお願ひします。
78	年齢は分けての遊具があると良いなと思います。密にならないように、さまざまな遊び場があると安心して遊ばせられるな!と思います。天童にある無料の屋内屋外の遊び場がとても良いなと感じました!同じようなスペースがあれば、圏外に行きづらいこのご時世に素敵だと思います。夏は、暑くて公園に行きづらいですが噴水や小さなプールがあったら涼めて嬉しいと思います。ずっと噴水が出るわけではなく10時位から始まり、10分水がでたら止まっての繰り返しをし、16時位には終了。など時間が決まっていると休憩ができ、帰るタイミングなどもいいなと思います。子供達が沢山楽しめる場所を是非お願ひします!!(^ ^)

資料4 サウンディング調査

4-1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、民間事業者の柔軟な発想や視点に基づく事業アイデアや取組の提案、創意工夫の可能性、参画意向や参画条件等について、幅広く意見を収集することを目的に実施しました。

(2) 調査期間・スケジュール

実施要領等の公表 令和4年8月5日（金）

説明会・現地見学会 令和4年8月23日（火）

個別対話 令和4年9月13日（火）～30日（金）

(3) 参加事業者

説明会・現地見学会参加者 6事業者

個別対話参加者 3事業者

※個別対話参加者の主な業種 花壇苗の生産・販売、花卉サービス業、指定管理者事業、修景遊具環境事業、デジタル技術等の販売・導入支援事業等

(4) 調査方法・調査項目

下記の項目について、事前ヒアリングシートを基にヒアリングを行いました。

分類	調査項目
事業者について	法人名、代表者名、所在地、業種・主な事業内容、連絡担当者（氏名、所属部署、役職、電話番号、メールアドレス）
事業アイデア等について	・ハナトピア岩沼の活性化に向けた利活用のアイデア
民間活力の活用について	・民間事業としての実現性、望ましい事業範囲※、事業手法、事業期間 ※ハナトピア岩沼全体を事業範囲とした意見以外にも、各施設等の一部分を事業範囲とした意見でも可能。 ・行政関与の必要性、行政に求める役割 ・参画意欲、参画条件
その他	・本事業へのご意見やご要望等

4-2 事業者からの意見

(1) 事業アイデアについて

①目的・コンセプトについて

「住民サービスの向上による住民満足度UPから移住促進」と「流入による外貨獲得」、「植物をテーマとする街づくりと地域の活性化（美しい草花の風景、環境改善、コミュニティの創出）」、「岩沼ガーデンツーリズム」のハブ機能を担う拠点など、様々な観点からの目的・コンセプトの提案がありました。

また、「子どもが思いっきり遊べ、親もゆっくり買い物ができる施設」といった提案がありました。

②ターゲット等について

市内外のファミリー層、市内外のガーデニング愛好者、教育旅行やツアー客等の団体客など、様々なターゲットの提案がありました。

一方で、中途半端なものでは、市外からの集客は難しいという指摘もありました。

③導入機能・取り組みについて

子供の遊び場や物販・産直施設、イートインスペース、コンセプトガーデン、花の販売所、ワーケーション、キッチンカーやテント等での販売・イベント、イルミネーション等が挙げられた。それに加え、QRコードを活用した情報発信等の提案がありました。

また、子供の遊び場については、1～3歳向けのエリア、3～5歳向けのエリア、6歳以上のエリアと子どもの年齢に合わせたゾーニングが必要との指摘がありました。

④既存建物を使った活性化のアイデア

農産物直売所の拡張・移転や、既存施設の屋内遊び場としての活用、団体の受け入れ等での活用、体験教室等への活用、庭園を有効活用、花の名所づくりなどが挙げられました。

⑤施設の再生、活性化、有効活用による効果について

子どもに優しいまちとすることで持続可能なまちづくりに繋げることや、市民参加により事業費の削減と質の高い緑化環境の提供に繋げることなどが挙げられました。

⑥駐車場について

親子をターゲットとした場合は現状の駐車場の規模で十分であるという意見がある一方、イベント時は満車になってしまうのではないかと懸念も挙げられました。

(2) 民間活力の活用について

①事業範囲について

整備、維持管理、運営などの各段階での参画や一貫通貫での参画が可能であるといった意見がありました。

また、ハナトピア岩沼全体を事業範囲とするのが望ましいという意見や、自社だけでなく他事業者との連携による実施の意向も挙げられました。

②事業手法及び事業期間について

指定管理者制度、定期借地権方式が挙げられました。

③運営上の工夫等について

来場者データを活用したマーケティングや、広報による収入源の確保、サポーターズクラブの協力を得るための定期的な周知、SNSを活用した宣伝、冬季の講習会・勉強会の実施、平日と土日を分けたターゲティングなどが挙げられました。

④料金徴収の考え方について

収入源として、少額の入場料や講習会等の参加費が挙げられました。

⑤行政に求める役割等について

地域住民との対話・調整連携支援や市が実施する事業との連携、SNS等による情報発信、スムーズな事業実施への対応等があげられました。

⑥参画意欲・条件等について

個別対話に参加した企業は、「参加の意向がある」もしくは「条件次第で参加を検討する」の回答がありました。

条件としては、利益に結びつけられるか、もしくは色々なチャレンジができるかといった意見が挙げられました。また、計画・設計から関与できることや、事業における適切な役割分担が重要という意見もありました。

(3) その他

- ・ 参加型講習会等の参加者はリピーターが多く、ハナトピア岩沼園内だけでなくまちなかの空き地等にも植栽作業を行いたいとの要望がありました。
- ・ 近隣の施設（金蛇神社やグリーンピア岩沼等）と連携し、地域一体型となり、「お花」で人を呼び込める施設にする必要があります。
- ・ 季節や天候等の対策方法を検討していく必要があります。